

2年 内進文系 科目一覧

	科 目	ページ
1	現代文B	2 ・ 3
2	古典B	4 ・ 5
3	国語探究 α	6 ・ 7
4	世界史B	8 ～ 13
5	日本史B	14 ～ 18
6	地理B	19 ～ 22
7	数学Ⅲ	23 ～ 25
8	数学B	26 ・ 27
9	文系数学 i a ii b	28 ・ 29
10	地学基礎	30 ～ 32
11	演習理科基礎	33 ～ 35
12	体育	36 ～ 41
13	保健	42 ～ 43
14	コミュニケーション英語Ⅱ	44 ～ 48
15	英語活用AE(Advanced Expression)	49 ～ 56
16	英語活用RP(Research & Presentation)	57 ～ 61
17	英語活用DD(Debate & Discussion)	62 ～ 66
18	英語外部検定チャレンジ	67 ～ 72
19	KoA-R・Ⅱ	73 ・ 74

令和3年度 国語科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
現代文B	普通科文系	2年	3
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
精選現代文B改訂版（筑摩書房）		新総合図説国語（東京書籍） 頻出漢字マスター3000（尚文出版）	

科目の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。			
評価の観点および評価規準				
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
様々な文章に関心をもって積極的に読み、自己の知識や考えの発展に活かそうとしている。	目的や場に応じて、効果的に話すことで自己を表現したり、的確に聞き取って考えを深めている。	相手や目的、意図に応じて、正しい表現を用い、自己の考えをまとめ、深めている。	文章の構成や展開、要旨などを的確に捉え、書き手や文章中の人物のものの見方、感じ方、考え方など中心的な内容を正確に把握している。	文章の構成や語句などの知識を身につけるとともに、文章読解を通して様々な考え方を理解している。
評価方法	【関心・意欲】出席状況、発言やノート等の授業態度、課題への取組状況。 【学習到達度】中間・期末考査等の定期考査の得点。 【表現力】文字作品（随筆・感想文等）、音声表現（スピーチ等）の内容や完成度。			

「現代文B」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年 福井県立高志高等学校 普通科（文系） 2年

実施月	単元名	教材名	指導事項					単元の目標	具体的評価規準（評価方法）			単元全体で 取り上げる 言語活動／学習活動	備考 （他教科との 関係 学校図書館の 活用、 I C Tの活用 等）
			ア	イ	ウ	エ	オ		関心・意欲・ 態度 （評価方法）	話す・聞く能力 書く能力 読む能力 （評価方法）	知識・理解 （評価方法）		
4	構成を捉える	ラップトップ抱えた「石器人」		○				・具体例に注目し、筆者の意見を読み取ることができる。 ・筆者の意見をもとに、自己の生活の中から具体例にふさわしい事例を考え、まとめることができる。 ・語句の正しい意味を理解する。	具体例と意見の関係に注目し、書き手の考えを読み取ろうとしている。（行動の観察）	具体例と意見の関係を考え、適切性を判断すると共に自らの生活を振り返り、適切な事例を挙げまとめようとしている。（記述の確認・定期考査）	語句の正しい意味を理解する。（定期考査）	書き手の意図を正しく捉え、それを踏まえての意見文を適切な具体例を用いて書く。	
	書き手の意図を捉える	水かまきり		○				・登場人物の人物背景を意識しながら読む態度を身につける。 ・書き手の意図を作品中に理由を求めながら考えることができる。 ・確かな理由のもとに本文を理解できる。	人物背景を意識しながら理解しようとしている。（行動の観察・記述の確認）	書き手の意図を本文の記述や記述から考えられる内容をもとに理解しようとしている。（記述の確認・定期考査）	文中の記述をもとに考えるという読みができるようになる。（記述の確認・定期考査）	話し合いを通して、書き手の意図を捉える。	
中間考査①													
5	展開を捉える	アイオワの玉葱		○				・接続語、指示語などに注目しながら文脈を追う。 ・対比、類似、具体と抽象、比喩の関係を捉えて、論の構造をつかむ	具体例と意見の關係に注目し、書き手の考えを読み取ろうとしている。（行動の観察）	文章の展開を的確に捉え、論理性を考えた上での要約文を書き、互いに評価しようとしている。（行動の観察・記述の確	接続詞等の働きを正しく理解する。（行動の観察・定期考査）	語句や展開の仕方に注意し、要旨を捉えてまとめ、評価する。	
	自己の考えを深める	山月記					○	・小説の構成・登場人物像とその心理を読み取ることができる。 ・主題の把握を通して、人間はいかに生きるべきかについて考えを深める。 ・話し合いを通して、「生きる」ことに対する様々な考えを知る。	登場人物の行動と心情を丁寧に読み取り、自己に置き換えて考えようとしている。（記述の確認・発問の答	自己の意見を持ち、他者との話し合いを通して、考えを深めようとしている。（行動の観察・定期考査）	「生きる」ことに対しての様々な考えを知る。（行動の観察）	話し合いを通して、自己の「生き方」について考え、まとめる。	
5～6	論理性を評価する	思考バイアス		○				・文の展開を意識して読み取る力を身につける。 ・文章の展開を的確に捉え、要約文を書き、互いに評価することができる。 ・文の展開と接続詞等の関係を意識することができる。	文章の展開を捉え、自分なりにまとめようとしている。（記述の確認）	文章の展開を的確に捉え、論理性を考えた上での要約文を書き、互いに評価しようとしている。（行動の観察・記述の確認・定期考査）	接続詞等の働きを正しく理解する。（行動の観察・定期考査）	語句や展開の仕方に注意し、要旨を捉えてまとめ、評価する。	
	フィクションの魅力を知る	貧の意地		○				・小説の構成・登場人物像とその心理を読み取ることができる。 ・主題の把握を通して、人間はいかに生きるべきかについて考えを深める。 ・話し合いを通して、「生きる」ことに対する様々な考えを知る。	作品の時代状況や社会状況やその背景を考えて読み味わい、理解しようとしている。（行動の観察）	書き手の意図を本文の記述や記述から考えられる内容をもとに理解しようとしている。（記述の確認・定期考査）	「生きる」ことに対しての様々な考えを知る。（行動の観察）	話し合いを通して、自己の「生き方」について考え、まとめる。	
中間考査②													
7	文章を批評する	文学の仕事		○				・物事を多角的に捉え考える。 ・各自の意見をもとに議論し、思考を深める。 ・多くの視点のもとに論証されているという展開を知る。	文中の語句の働きの注意して、要旨を捉えようとしている。（行動の観察・記述の確認）	自己の意見を持ち、他者と議論しようとしている。（行動の観察）	多角的な視点をもとに展開される文章の構成について知る。（行動の観察・定期考査）	・筆者の意見に対する自己の意見を、肯定・否定の両面から考えた上で、最終的な自己の意見をまとめる。 ・自己の意見をもとに、他者と議論する。	
	意見文を書く	藤野先生			○			・印象的な表現や心情を中心に読む。 ・人間と社会の深い関わり合いの錯綜を読み解き、人生について深く考える態度を身につける。	作品の時代状況や社会状況やその背景を考えて読み味わい、理解しようとしている。（行動の観察）	作者にとって藤野先生がどのような存在だったかを作品に基づいて読み解き、随想文を書く。（記述の確認・	魯迅とその作品に関して理解している。（行動の観察・定期考査）	作品を読んで考えたことを基にして、「学ぶこと」「書くこと」「誠意」などのテーマで随想文を創作する。	
9	筆者の主張を読み取る	異時代人の眼		○				・歴史の正確な理解とはどのようなことか、真実を見いだすために必要なことはどのようなことかを考えさせる。	主張や展開を的確に理解しようとしている。（行動の観察）	主張や論理展開、表現等に注意して、筆者の主張や見解を丁寧に読み取ろうとしている。（発問の答え・	筆者の言う「歴史学」とはどのようなものか、理解する。（行動の観察・定期考査）	・筆者の意見に対する自己の意見を、肯定・否定の両面から考えた上で、最終的な自己の意見をまとめる。 ・自己の意見をもとに、他者と議論する。	
	実用の文章を書く	報告				○		情報を収集・分析・整理し、聞き手の存在を意識して、効果的に表現することができる。	積極的に情報を収集・分析し、効果的にまとめようとしている。（行動の観察・記述の確認）	整理した情報を聞き手を意識して効果的に表現しようとしている。（記述の確認）	情報の収集・分析・整理の方法や、効果的な表現の仕方について知る。（記述の確認）	発表する。	
期末考査													
10	随想を味わう	路地の奥の家		○				・文化や人間について視野を広げ、考えを深化させる。 ・生活や社会、人間に迫る筆者の視線を追い、想念にたどり着き、理解する。	時代背景と主人公の生涯との繋がりを意識しながら読もうとしている。（行動の観察）	随想の柔軟な思考や文章表現の自由闊達さを味わい、理解しようとしている。（発問の答え・記述の確認・定期考査）	外国人から見た「日本語」について理解しようとしている。（行動の観察・定期考査）	作品を読んで考えたことを基にして、「これからの日本語をどう考えるか」「外国人にどのようなように日本のことを伝えていけばいいか」などのテーマで随想文を創作する。	
	構成・展開を理解する	ファンタジー・ワールドの誕生		○				・段落相互の関係を意識して、主張や論理展開を的確に理解する。 ・表現に注意して、筆者の特徴的な見解を理解する。 ・ものの見方・感じ方・考え方を深める。	主張や展開を的確に理解しようとしている。（行動の観察）	主張や論理展開、表現等に注意して、筆者の主張や見解を丁寧に読み取ろうとしている。（発問の答え・記述の確認・定期考査）	作品を通して、新たなものの見方・考え方に気づく。（記述の確認）	個人で読み取った論理展開や筆者の主張について、ペアで確認する。	
中間考査①													
11～12	生き方について考える	空と風と星と詩		○				・本文から主人公の生涯を読み取る。 ・鑑賞文をもととした話し合いを通して、主人公の生き方を考察し、「人間の質」について考える。 ・詩の特性について知る。	時代背景と主人公の生涯との繋がりを意識しながら読もうとしている。（行動の観察）	詩の鑑賞文を書き、話し合いを通して「人間の質」について考えようとしている。（行動の観察・記述の確認）	詩の余情性や言葉の裏にある意味の重要性について知る。（記述の確認・定期考査）	・詩の鑑賞文を書く。 ・話し合いを通して「人間の質」について考える。	
中間考査②													
1	要旨を的確に捉える	「である」ことと「する」こと		○				・日本の近代化の問題点を読み取ることができる。 ・論の展開を丁寧にとらえ、要旨を的確に捉えることができる。 ・多くの符号が持つ意味を理解する。	日本の近代化について読み取ろうとしている。（行動の観察）	段落の関係性等々に注意しながら、論の展開を丁寧にとらえ、要旨を読み取ろうとしている。（記述の確認・定期考査）	多くの符号が持つ意味合いについて理解し、本文中での役割を知る。（記述の確認・定期考査）	個人で書いた要旨についてペアで意見交換する。	
	要旨を的確に捉える	寛容は自らを守るために不寛容に対して不寛容になるべきか		○				・筆者の平易で親身な語り口をどのような認識や価値観が支えているのか理解する。 ・「寛容」とはどのような思想的態度であるか、理解する。	「不寛容」が現代社会に及ぼす負の連鎖について考えようとしている。（発問・記述の確認）	段落の関係性等々に注意しながら、論の展開を丁寧にとらえ、要旨を読み取ろうとしている。（記述の確認・定期考査）	「寛容」がなぜ必要とされるのかその理由を歴史的背景を通じて、理解する。（行動の観察・定期考査）	「寛容」と「不寛容」の具体的な事例について、調べ学習を行いながら話し合う。	
	人の生き方・考え方について思考する	こころ		○				・登場人物の心情の変化を読み取ることができる。 ・「K」の自殺という行為を中心に、人の生き方、考え方について思考し、まとめ発表する。 ・登場人物の行動から心情を考える視点を身につける。	登場人物の心情の変化を人物の行動をもとにして読み取ろうとしている。（発問・記述の確認）	「K」の自殺という行為を中心に、自殺の理由、決意の時期、その行為についての是非等について議論しようとしている。（行動の観察）	人の行動と心情の関係について理解する。（記述の確認・定期考査）	「K」の自殺という行為を通して様々な課題を設定し話し合う。	
学年末考査													
時間の場合の例								105					

令和3年度 国語科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
古典B	普通科文系	2年	3
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
古典B 古文編〔改訂版〕・古典B 漢文編〔改訂版〕（三省堂 古B 333・334）		新総合図説国語（東京書籍） 完全マスター古典文法（第一学習社） 漢文読本（大修館書店）・新明説漢文（尚文出版） 解法古文単語350（数研出版）	

科目の目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解	
古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。	
評価方法	【関心・意欲】出席状況、発言やノート等の授業態度、課題や小テスト等への取組状況。 【学習到達度】中間・期末考査等の定期考査の得点、提出物の評価。		

「古典B」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年 福井県立高志高等学校 普通科（文系）2年

実施月	単元名	教材名	指導事項					単元の目標	具体的評価基準（評価方法）			単元全体で 取り上げる 言語活動／学習活動	備考 （他教科との関係、 学校図書館の活用、 I C T の活用等）		
			ア	イ	ウ	エ	オ		関心・意欲・ 態度 （評価方法）	読む能力 （評価方法）	知識・理解 （評価方法）				
4～5	《古文》 説話を読む 《漢文》 説話を読む	《古文》 安養の尼上の小袖（十訓抄） やさし蔵人（大和物語） 小野篁、広才のこと（宇治拾遺物語） 《漢文》 糟糠之妻（後漢書） 王昭君（西京雜記） 漱石枕流（背説新語）	○	○				12	《古文》説話を読み、時代と社会に対する認識を深めるとともに、そこに描かれた多様な人物像に触れることで、古典に親しむ態度を養う。 《漢文》比較的短い逸話作品の読解を通して、漢文に用いられる語句の意味、用法を理解し、その構成や展開に即した主題の読み取りができるようにし、古典に触れる楽しさを味わう。	それぞれの話を正確に読解し、登場人物の行動や心情を読み取ろうとしている。（行動の観察）	それぞれの話を正確に読解し、登場人物の行動や心情を読み取っている。（記述の確認・定期考査）	作品に関する文学史的な基礎知識を正確な読解に結びつけている。再読文字や句形に関する理解を深めている。（定期考査）	・（読むこと）人物に焦点を当てた説話を紹介し合い、現代に通じるユーモアや情趣を分析し、味わう。		
中間考査①															
5～6	《古文》 歌物語・随筆を読む 《漢文》 史伝を読む	《古文》 狩りの使ひ（伊勢物語） 小野の雪（伊勢物語） 雪のいと高う降りたるを（枕草子） 《漢文》 鴻門之会（史記）		○	○				16	《古文》歌物語を読み、話の展開を正確に読み取るとともに、和歌に託された心情を考えることで歌物語を鑑賞する力と古典に親しむ態度を養う。 《漢文》史記を読解しながら項羽と劉邦を中心として多彩な登場人物の描写を味わうとともに、作者司馬遷の人間に対する観察眼、洞察力にふれる。	正確な読解をもとにして、話の展開や登場人物の心情を理解しようとしている。（行動の観察）	正確な読解をもとにして、話の展開や登場人物の心情を理解している。（記述の確認・定期考査）	和歌の修辞の理解、および歌物語の知識、重要句形を鑑賞に結びつけている。（定期考査）	・（書くこと）歌物語の印象的な場面について台本を作り、風景や人物の仕草や具体的な台詞などを想像して創作する。	
中間考査②															
7～8	《古文》 随筆を読む 《漢文》 史伝を読む	《古文》 すさまじきもの（枕草子） ゆく川の流れ（方丈記） 《漢文》 四面楚歌（史記） 項王の最期（史記）		○	○				14	《古文》作者のものの見方、感じ方、考え方について理解を深めるとともに、文化や感性の伝統について考える。 《漢文》史記を読解しながら項羽と劉邦を中心として多彩な登場人物の描写を味わうとともに、作者司馬遷の人間に対する観察眼、洞察力にふれる。	描かれた題材を正確に読み取り、表現の特色や作者のものの見方、感じ方、考え方について考えようとしている。（行動の観察）	描かれた題材を正確に読み取り、表現の特色や作者のものの見方、感じ方、考え方について考えている。（記述の確認・定期考査）	作品に関する文学史的な基礎知識、重要句形を正確な読解に結びつけている。（定期考査）	・（読むこと）項羽と劉邦のリーダー性の違いを分析し、現在のリーダー論と比較して、どの場面でどう振る舞うべきだったかを考える。	
実力評価テスト															
9	《古文》 歴史物語を読む 《漢文》 日本の漢詩文・思想を読む	《古文》 雲林院の菩薩譚（大鏡） 花山天皇の出家（大鏡） 弓争ひ（大鏡） 《漢文》 長沮・桀溺（論語） 不忍人之心（孟子） 人之性悪（荀子）		○	○				12	《古文》描かれたエピソードや、登場人物の人間像を読み取るとともに、そのエピソードや人物について語る語り手のスタンスを正しく捉えて鑑賞する。 《漢文》 ・それぞれの思想家のものの見方、考え方を理解するとともに、それらの生まれた時代背景への理解を深め、それらの思想がわが国の文化や社会に与えた影響についても考える。	正確な読解をもとにして、登場人物、思想家の行動や心情を理解しようとしている。（行動の観察）	正確な読解をもとにして、登場人物、思想家の行動や心情を理解している。（記述の確認・定期考査）	作品の特色について理解し、文法や句法を用いて、その知識を読解に結びつけている。（定期考査）	・（話すこと）性善説と性悪説について具体的な根拠を挙げながら議論し、相手の論も整理して反論する。	
期末考査															
10	《古文》 軍記物語 《漢文》 思想を読む	《古文》 忠度の都落ち（平家物語） 《漢文》 小国寡民（老子）			○	○	○		12	《古文》音読を通して語り物の特徴を知るとともに、生死に直面した人間の行動を通して、生き方についての考えを深める。 《漢文》思想家のものの見方、考え方を理解するとともに、それらの生まれた時代背景への理解を深め、それらの思想がわが国の文化や社会に与えた影響についても考える。	音読を通して文体を味わい、内容を踏まえて人間の生き方についての考えを深めようとしている。（行動の観察）	登場人物の置かれた状況やその心情を読み取る。（記述の確認・定期考査）	基本的な敬語法について理解している。（定期考査）	・（話すこと）古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	
中間考査①															
11	《古文》 日記を読む 《漢文》 文章を読む	《古文》 あこがれ（更級日記） 源氏の五十余巻（更級日記） 《漢文》 桃花源記（陶潜） 漁父辞（屈原）			○	○			12	《古文》女性の手になる日記作品を読み、当時の宮廷女性の生き方を知るとともに、それぞれの作品にあらわれたものの見方、感じ方、考え方を参考にして作品を鑑賞する。 《漢文》詩についての基本的事項を理解し、そこに描かれた情景や作者の心情を読み味わう。	作品から読み取れる作者の心情や感性を理解するとともに、登場人物の人物像について考えようとしている。（行動の観察）	作品から読み取れる作者の心情や感性を理解するとともに、登場人物の人物像について考えている。（記述の確認・定期考査）	文学史的な基礎知識、文法や句法を、正確な読解に結びつけている。（定期考査）	・（読むこと）更級日記からわかる、当時の地理的条件の差異や源氏物語への世間の反応をまとめ、整理する。	
12	《古文》 物語を読む 《漢文》 詩を読む	《古文》 光源氏の誕生（源氏物語） 藤壺の宮の入内（源氏物語） 《漢文》 秋浦歌、春夜宴桃李園序（李白） 春夜喜雨（杜甫） 鹿柴（王維）	○		○	○			12	《古文》源氏物語を読み、光源氏を取り巻く女性達の物語の読解・鑑賞を通して、日本文学の最高傑作とされる作品世界に触れるとともに、時代を超えた人間の真実に触れることで、古典に親しむ態度を養う。 《漢文》詩に詠み込まれた情景や作者の心情を読み味わう。	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解しようとしている。（行動の観察）	各場面の状況や登場人物、その行動や心情について正確に理解している。（記述の確認・定期考査）	作品の特質、近体詩のきまりを理解し、その知識を読解に結びつけている。（定期考査）	・（読むこと）源氏物語の中にある、「宮中の生活」「帝・天皇」についての知識を整理し、具体的なエピソードも調べて紹介し合う。	
実力評価テスト															
1	《古文》 評論を読む 随筆を読む 《漢文》 史伝を読む	《古文》 笈の小文（笈の小文） 世に語り伝ふること（徒然草） 《漢文》 完璧帰趙（史記） 渾池之会（史記）			○	○			12	《古文》評論や随筆を読み、古典文学の根底にあるものの見方・感じ方・考え方を知らんと、我が国の伝統と文化について理解を深め、古典に親しむ態度を養う。 《漢文》長文の読解を通して、漢文の表現に慣れ、語句や句形の知識の定着と、内容把握能力の向上を図る。	作品のテーマを読み取り、作者のものの見方・考え方を理解しようとしている。（行動の観察）	作品のテーマを読み取り、作者のものの見方・考え方を理解している。（記述の確認・定期考査）	さまざまなものの見方・考え方・感じ方を知ることによって自己の視野を広げ、句形や意味から正しく口語訳をしている。（定期考査）	・（読むこと）史記を通じて、感情を表すような漢字に注目し、緊迫した場面をテンポ良く伝える工夫を考える。	
中間考査②															
2～3	《古文》 日記を読む 《漢文》 史伝を読む	《古文》 なべて世のはかなきことを（建礼門院右京大夫集） 今や昔や夢と（建礼門院右京大夫集） 《漢文》 刎頸之交（史記）	○	○	○				15	《古文》作者が置かれた状況を理解とし、和歌にこめられた作者の心情を読み取る。 《漢文》長文の読解を通して、漢文の表現に慣れ、語句や句形の知識の定着と、内容把握能力の向上を図る。	歴史的背景をとらえ、作者が置かれた状況とその心情を理解しようとしている。（行動の観察）	和歌を通して作者の心情を読み取る。（記述の確認・定期考査）	基本的な助詞について理解している。（定期考査）	・（話すこと）古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合うこと。	
学年末考査															
3単位 105時間の場合の例								105							

令和3年度 国語科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
国語探究α	普通科文系	2年	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
読んで楽しむ音読古典(高志中学校高校国語科自作教材)			

科目の目標	古文・漢文を読み解き、理解する力を身につける。古文の読解においてはあわせて、古典文法の理解・定着を図る。漢文の読解においては、あわせて漢文句法の理解・定着を図る。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解	
古典を読む力を進んで高めるとともに、主体的に古典作品を読んでいくことで、豊かな言語文化に親しむ。	まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている。	
評価方法	【関心・意欲】出席状況、発言やノート等の授業態度、課題や小テスト等への取組状況。 【学習到達度】各活動における内容や提出物の完成度など、発表や記述の確認と分析。		

「古典探究α」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年 福井県立高志高等学校 普通科２年（文系）

	単元名	教材名	指導事項						単元の目標	具体的評価規準（評価方法）			単元全体で 取り上げる 言語活動／学習活動	備考 （他教科との関係、 学校図書館の活用、 I C Tの活用等）	
			ア	イ	ウ	エ	オ	関心・意欲・ 態度 （評価方法）		読む能力 （評価方法）	知識・理解 （評価方法）				
前期 1	《古文》 説話を読む	随想「徒然草」の読解 「枕草子」の読解 「発心集」の読解 「蜻蛉日記」の読解	○	○	○	○	○	12	《古文》随想を読み、時代と社会に対する認識を深めるとともに、そこに描かれた多様な考え方に触れることで、古典に親しむ態度を養う。またグループ活動を通して、各随想の特徴を捉える。	それぞれの話を正確に読解し、作者の行動や心情を読み取ろうとしている。 （行動の観察）	それぞれの話を正確に読解し、作者の行動や心情を読み取っている。（記述の確認）	作品に関する文学史的な基礎知識を正確な読解に結びつけている。（レポート）	・（読むこと・話すこと・聞くこと・書くこと）考え方に焦点を当てて、随想を読むことで、現代に通じる作者の思想をグループで分析しあい、レポートを作る。		
前期 2	《漢文》 諸子百家を読む	諸子百家の思想 「論語」の読解 「孟子」の読解 「荀子」の読解 「老子」の読解 「莊子」の読解	○	○	○	○	○	6	《漢文》諸子百家の読解を通して、漢文に用いられる語句の意味、用法を理解し、そこで述べられている思想を理解することで古典に触れる楽しさを味わう。	正確な読解をもとにして、話の展開や思想家の論理を理解しようとしている。 （行動の観察）	正確な読解をもとにして、話の展開や思想家の論理を理解している。（記述の確認）	思想家の思想を読み取り、現代と比較し相違点を把握する。 （レポート）	・（読むこと・話すこと・聞くこと・書くこと）考え方に焦点を当てて、諸子百家を読むことで、現代に通じる作者の思想をグループで分析しあい、レポートを作る。		
後期 1	《古文》 物語を読む	「和泉式部日記」の読解 「源氏物語」の読解	○	○	○	○	○	9	《古文》作者のものの見方、感じ方、考え方について理解を深めるとともに、文化や感性の伝統について考える。	描かれた題材を正確に読み取り、表現の特色や登場人物の、感じ方、考え方について考えようとしている。 （行動の観察）	描かれた題材を正確に読み取り、表現の特色や登場人物のものの見方、感じ方、考え方について考えている。（記述の確認）	作品に関する文学史的な基礎知識、重要句形を正確な読解に結びつけている。（レポート）	・（読むこと・話すこと・聞くこと・書くこと）登場人物の心情に焦点を当てて、物語を読むことで、古典の世界のイメージを広げ、グループで共有し、レポートを作る。		
後期 2	《漢文》 史伝を読む 日本の漢詩文を読む	「史記」 「十八史略」 「日本の漢詩文選」	○	○	○	○	○	8	《漢文史伝》史記・十八史略を読解しながら多彩な登場人物の描写を味わうとともに、作品の比較を行い、表現を味わう。 《日本の漢詩文》日本の漢詩文に触れることで、漢文書き下し文のリズムに親しみ、日本の漢文文化を味わう。	・正確な読解をもとにして、登場人物の行動や心情を理解しようとしている。 ・漢詩文を正確に読解し、作者の詩の表現を理解しようとしている。（行動の観察）	・正確な読解をもとにして、登場人物の行動や心情を理解している。 ・漢詩文を正確に読解し、作者の詩の表現を理解している。（行動の観察）	作品の特色について理解し、文法や句法を用いて、その知識を読解に結びつけている。（レポート）	・（読むこと・話すこと・聞くこと・書くこと）史伝における表現や、登場人物の行動に焦点を当てながら史伝を読むことで、古代中国における考え方や生き方をグループで共有し、レポートを作る。 ・（読むこと）日本の漢詩文を読み、作者の心情を考えながら音読することで、日本の漢詩文化を知り、日本文化における漢文受容の歴史を考える。		
1 単位 3 5 時間の場合の例								35							

令和3年度 地歴・公民科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
世界史B	普通科文系	2年	3
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍 『世界史B』		浜島書店「アカデミア世界史」	

科目の目標	1. 世界の歴史の大きな枠組みと展開について、諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解を深める。 2. 世界の文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培う。 3. 国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に生きる国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	世界の歴史から課題を見だし、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価の方法			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・行動観察 ・提出状況	・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	・定期考査 ・小テスト ・模擬試験

「世界史B」指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校 普通科 2年

単 元 番 号	単 元 名	実 施 月	単 元 の 時 数	評 価 規 準				学 習 内 容	言 語 活 動
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解		
				(評価の方法) ・行動観察 ・提出状況	(評価の方法) ・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	(評価の方法) ・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	(評価の方法) ・定期考査 ・小テスト ・模擬試験		
1	世界史への扉	4	3	・自然環境と人類の関わりに着目し、生業や暮らし、交通手段、資源、災害などの歴史的事例を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。 ・日本と世界の諸地域の歴史と関係が深い、人、もの、技術、文化、宗教、生活などの事柄に着目し、相互の接触・交流に関わる歴史的事例を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。 ・日常生活のなかにある事柄に着目し、歴史的観点に立って取り上げた衣食住、家族、余暇、スポーツなどの事例の変遷などを意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。	・生業や暮らし、交通手段、資源、災害などの歴史的事例から自然環境と人類の関わりについて歴史的に考察するとともに、その過程や結果を適切に表現している。 ・人、もの、技術、文化、宗教、生活などの歴史的事例から日本と世界の諸地域の接触・交流について歴史的に考察するとともに、その過程や結果を適切に表現している。	・生業や暮らし、交通手段、資源、災害などの歴史的事例から自然環境と人類の関わり方の考察に必要な諸資料について、有用な情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ・人、もの、技術、文化、宗教、生活などの歴史的事例から日本の歴史と世界の歴史のつながりの考察に必要な諸資料について、有用な情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ・歴史的観点に立って取り上げた衣食住、家族、余暇、スポーツなどの事例から日常生活にみる世界の歴史の考察に必要な諸資料について、有用な情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・自然環境と人類のこれまでの活動との相互関係を地理的視野から捉え、世界史学習における地理的視点の重要性と世界史学習の意義に気付いている。 ・日本と世界の諸地域の間で相互の接触・交流の結果もたらされ、現在まで受け継がれてきた日本と関係の深い事柄を通して、日本の歴史と世界の歴史のつながりと世界史学習の意義に気付いている。 ・日常生活のなかにある日本と世界の諸地域との接触・交流の軌跡や、生活・文化の地域的特色を通して、日常生活からも世界の歴史が捉えられることと世界史学習の意義に気付いている	① 気候変動と私たち人類の生活 ・気候変動という地球的現象を歴史的に考察し、人類の生活形態や行動様式に大きな影響を与えてきたことに気付く。 ② 漂流民のみた世界 ・外国の様子を直接見聞した漂流民の活動から、日本と世界の接触・交流の具体的様相、および日本史と世界史との密接な繋がりに気付く。 ③ 砂糖からみた世界の歴史 ・砂糖という身近な日常品の歴史をたどることから、世界史の諸問題がとらえられることに気付く。	・気候変動が与える影響について理解し、他者に伝える。 ・漂流民を通して日本と世界の諸地域の接触・交流を理解し、密接なつながりについて他者に伝える。
2	序章 先史の世界	4	1	・人類の進化とその特徴について、関心をもって学習しようとしている。 ・文明の特徴を理解し、人種や民族、語族といった概念に関心を持って学習しようとしている。	・人類の進化の過程、農耕・牧畜の開始の意義などを、多角的に考察している。 ・人種や民族といった分類を、偏見なく客観的に判断している。	・進化図や道具図、洞穴絵画などの図版や写真、教科書に掲載されている諸言語の系統分類表を適切に活用している。	・人類の進化、文明の成立、人類と言語の分化に関する基本的な知識を身につけている。	先史の世界 ・人類が自然環境に適応しながら進化し、農耕・牧畜を基礎とする諸文明を築き上げたことに気付くと同時に、人類と言語の分化を理解する。	・人類の進化、人類と言語の文化についての的確に他者に伝達する。
3	第Ⅰ部 第1章 オリエントと地中海世界	4 ・ 5	12	・諸文明が自然環境に適応しながら築き上げられたことや、隣接する地域世界が相互に影響しあってきたことに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	・西アジア世界・地中海世界の形成過程及びオリエント文明やギリシア・ローマ文明の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・諸地域世界の形成を時間的なつながりに着目して捉え、論理的に思考し適切に表現している。	・諸文明の特質に関する資料から有用な情報を適切に選択して、関連する事項を年代順に並べたり、因果関係で結び付けたりするなどの活動を通して、世界史を時間的なつながりに着目して整理している。	・西アジア世界と地中海世界の形成過程についての基本的な事柄を把握し、その知識を身に付けている。	1 古代オリエント世界 ・西アジア世界の地理的特質を把握し、オリエント文明の盛衰、イラン人の活動を理解する。 2 ギリシア世界 ・地中海一帯の地理的特質を把握し、エーゲ文明、ギリシア・ヘレニズム文明の特徴を理解する。 3 ローマ世界 ・都市国家から大帝国に発展したローマ文明の特質を理解する。	・西アジア世界と地中海世界の形成過程について、類似点や相違点、影響を他者に伝達する。

4	第Ⅰ部 第2章 アジア・アメリカの古代文明	5	8	・諸文明が自然環境に適応しながら築き上げられたことや、隣接する地域世界が相互に影響しあってきたことに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	・南アジア世界・東南アジア世界の形成過程を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・諸地域世界の形成を時間的なつながりに着目して捉え、論理的に思考し適切に表現している。	・諸文明の特質に関する資料から有用な情報を適切に選択して、関連する事項を年代順に並べたり、因果関係で結び付けたりするなどの活動を通して、世界史を時間的なつながりに着目して整理している。	・南アジア世界と東南アジア世界の形成過程についての基本的な事柄を把握し、その知識を身に付けている。	1 インドの古典文明 ・南アジアの地理的特質を把握し、インド文明の成立と発展、独自の宗教・社会制度など、南アジア世界の形成過程を理解する。 2 東南アジアの諸文明 ・東南アジアの地理的特質を把握し、東南アジア世界の国家形成の過程を理解する。 3 中国の古典文明 ・東アジアの地理的特質を把握し、中国文明の起源、殷・周の成立から秦・漢帝国の動向までを理解する。 4 南北アメリカ文明 ・先住民による南北アメリカ文明の形成とその特色を理解する。	・インド・東南アジア・中国・南北アメリカ文明の特徴とその影響について記述する。
5	第Ⅰ部 第3章 内陸アジア・東アジア世界の形成	5・6	7	・諸文明が自然環境に適応しながら築き上げられたことや、隣接する地域世界が相互に影響しあってきたことに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	・日本を含む東アジア世界・内陸アジア世界の形成過程及び中華文明や東アジア諸民族の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・諸地域世界の形成を時間的なつながりに着目して捉え、論理的に思考し適切に表現している。	・諸文明の特質に関する資料から有用な情報を適切に選択して、関連する事項を年代順に並べたり、因果関係で結び付けたりするなどの活動を通して、世界史を時間的なつながりに着目して整理している。	・日本を含む東アジア世界と内陸アジア世界の形成過程についての基本的な事柄を把握し、その知識を身に付けている。	1 草原の遊牧民とオアシスの定住民 ・内陸アジアの地理的特質を把握し、台頭した遊牧民とその国家の動向を、オアシス民の活動とともに理解する。 2 北方民族の活動と中国の分裂 ・東アジアにおける北方遊牧民族の動向と、三国時代から魏晉南北朝という中国の分裂と動乱の時代を理解する。 3 東アジア文化圏の形成 ・隋唐帝国の国家制度や文化、日本を含む東アジア世界諸国の国家体制の整備やその動向を理解する。 主題学習Ⅰ 時間軸からみる諸地域世界 ・文明の形成された諸地域の地理的特質、古代帝国の支配秩序や宗教を確認する。 ・主題を設定し、世界史を時間的なつながりに着目して整理・表現する技能を学ぶ。	・遊牧民と農耕民の接触について理解し、その影響を記述する。 ・中国が東アジア文化圏に与えた影響を理解し、記述する。
6	第Ⅱ部 第4章 イスラーム世界の形成と発展	6	8	・イスラームの拡大と交流の活発化、ヨーロッパ世界の形成、内陸アジア諸民族の動向と諸地域世界の再編といったユーラシア規模での動きに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	・イスラーム世界の形成と拡大及びイスラームの特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・諸地域世界の交流と再編を空間的なつながりに着目して捉え、論理的に思考し適切に表現している。	・諸地域世界の接触や交流に関する資料から有用な情報を適切に選択して、地図上に表したり、世紀ごとに比較したりするなどの活動を通して、世界史を空間的なつながりに着目して整理している。	・イスラーム世界の形成と拡大の過程についての基本的な事柄を把握し、その知識を身に付けている。	1 イスラーム世界の形成 ・イスラーム世界成立の背景とその特質、アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成を理解する。 2 イスラーム世界の発展 ・トルコ系民族が内陸アジアから進出し、ムスリムの連携を維持しながらイスラーム世界を拡大させていった過程を理解する。 3 インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化 ・インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化など、イスラーム世界の拡大の過程を理解する。 4 イスラーム文明の発展 ・イスラーム文明の特質とその影響、学問と文化活動の内容、イスラーム都市を中心としたネットワークの役割を理解する。	・イスラーム世界の特徴と発展、他の文化圏に与えた影響を理解し、記述する。
7	第Ⅱ部 第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展	6・7	12	・イスラームの拡大と交流の活発化、ヨーロッパ世界の形成、内陸アジア諸民族の動向と諸地域世界の再編といったユーラシア規模での動きに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	・ヨーロッパ世界の形成と展開及びヨーロッパ文明の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・諸地域世界の交流と再編を空間的なつながりに着目して捉え、論理的に思考し適切に表現している。	・諸地域世界の接触や交流に関する資料から有用な情報を適切に選択して、地図上に表したり、世紀ごとに比較したりするなどの活動を通して、世界史を空間的なつながりに着目して整理している。	・キリスト教とヨーロッパ世界の形成と展開の過程についての基本的な事柄を把握し、その知識を身に付けている。	1 西ヨーロッパ世界の成立 ・地中海世界解体後、ヨーロッパ世界が東西に分かれ、ゲルマン人移動後の西ヨーロッパでは、外部勢力との対抗の中で封建社会が形成されていったことを理解する。 2 東ヨーロッパ世界の成立 ・ビザンツ帝国の繁栄とその社会や文化、スラヴ人と周辺諸民族の自立の過程を理解する。 3 西ヨーロッパ中世世界の変容 ・十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の変容と諸国の動向を理解する。 4 西ヨーロッパの中世文化 ・教会と修道院、大学やスコラ学などから、ヨーロッパ中世文化の特色を理解する。	・ヨーロッパ世界の形成の過程を理解し、その特徴を他者に的確に伝達する。

8	第Ⅱ部 第6章 内陸アジア世界・東アジア世界の展開	9	6	・イスラームの拡大と交流の活発化，ヨーロッパ世界の形成，内陸アジア諸民族の動向と諸地域世界の再編といったユーラシア規模での動きに対する関心を高め，意欲的に追究しようとしている。	・内陸アジア諸民族が諸地域世界の交流と再編に果たした役割を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・諸地域世界の交流と再編を空間的なつながりに着目して捉え，論理的に思考し適切に表現している。	・諸地域世界の接触や交流に関する資料から有用な情報を適切に選択して，地図上に表したり，世紀ごとに比較したりするなどの活動を通して，世界史を空間的なつながりに着目して整理している。	・内陸アジア諸民族が諸地域世界の交流と再編に果たした役割についての基本的な事柄を把握し，その知識を身に付けている。	1 トルコ化とイスラーム化の進展 ・内陸アジア世界におけるトルコ人の活動とイスラーム化の進展を理解する。 2 東アジア諸地域の自立化 ・契丹や女真といった遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域の勢力交替，宋の興亡と社会や文化の特色を理解する。 3 モンゴルの大帝国 ・モンゴル帝国の興亡と，その活動が日本を含む諸地域世界にあたえた影響の大きさを理解する。 主題学習Ⅱ 空間軸からみる諸地域世界 ・古代帝国崩壊後のヨーロッパ・西アジア・東アジアといった諸地域世界の新しい国家や社会の形成を確認し，その相互の交流を理解する。 ・同時代性に注目して主題を設定し，世界史を空間的なつながりに着目して整理・表現する技能を学ぶ。	・諸地域の交流によってどのような影響があったのかを理解し，記述する。
9	第Ⅲ部 第7章 アジア諸地域の繁栄	9	8	・アジア諸地域の繁栄と日本，ヨーロッパの拡大と大西洋世界，産業社会と国民国家の形成，世界市場の形成と日本など，16世紀から19世紀の歴史的事象に対する関心を高め，意欲的に追究しようとしている。	・アジア諸地域の繁栄と日本について，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・16世紀から19世紀の歴史的事象に関して，その時代に作成された文字資料や図像資料を多面的，多角的に考察している。	・16世紀から19世紀までの諸地域世界に関して，その時代に作成された文字資料や絵画，風刺画，写真などの図像資料から有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・16世紀から18世紀までのアジア諸地域の特質とその中での日本の位置付けを理解し，その知識を身に付けている。	1 東アジア世界の動向 ・中華帝国を再現した明朝の動向とともに，朝鮮や日本など東アジア世界の状況を理解する。 2 清代の中国と隣接諸地域 ・清朝の形成した広大な領域支配とその社会や文化とともに，東アジア世界の動向を理解する。 3 トルコ・イラン世界の展開 ・トルコ・イラン世界に誕生したイスラーム帝国の動向とその社会や文化の特質を理解する。 4 ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展 ・南アジアに誕生したムガル帝国の動向とインド社会や文化の変化，東南アジア交易の発展を理解する。	
10	第Ⅲ部 第8章 近世ヨーロッパ世界の形成	10	8	・アジア諸地域の繁栄と日本，ヨーロッパの拡大と大西洋世界，産業社会と国民国家の形成，世界市場の形成と日本など，16世紀から19世紀の歴史的事象に対する関心を高め，意欲的に追究しようとしている。	・ヨーロッパの拡大と大西洋世界について，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・16世紀から19世紀の歴史的事象に関して，その時代に作成された文字資料や図像資料を多面的，多角的に考察している。	・16世紀から19世紀までの諸地域世界に関して，その時代に作成された文字資料や絵画，風刺画，写真などの図像資料から有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・16世紀から18世紀までのヨーロッパ世界の特質とアメリカ・アフリカとの関係を理解し，その知識を身に付けている。	1 ヨーロッパ世界の拡大 ・ヨーロッパ世界の拡大とアメリカ大陸の征服，それに伴うヨーロッパ社会の変革の動きを理解する。 2 ルネサンス ・ルネサンスのもたらした芸術・思想・科学の変革の内容と意義を理解する。 3 宗教改革 ・ドイツから始まった宗教改革の理念とその拡大，カトリック教会の対応を理解する。 4 ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成 ・近代国家の原型となった主権国家体制の特色と，体制の形成に向かうヨーロッパ諸国の内乱や戦争の動向を理解する。	・大航海時代・ルネサンス・宗教改革がヨーロッパにもたらした変革やを理解し，記述する。 ・大航海時代が他地域に及ぼした影響について記述する。 ・主権国家体制の特色を理解し，ヨーロッパの内乱や戦争について理解し，他者に的確に伝える。
11	第Ⅲ部 第9章 近世ヨーロッパ世界の展開	10	6	・アジア諸地域の繁栄と日本，ヨーロッパの拡大と大西洋世界，産業社会と国民国家の形成，世界市場の形成と日本など，16世紀から19世紀の歴史的事象に対する関心を高め，意欲的に追究しようとしている。	・ヨーロッパの拡大と大西洋世界について，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・16世紀から19世紀の歴史的事象に関して，その時代に作成された文字資料や図像資料を多面的，多角的に考察している。	・16世紀から19世紀までの諸地域世界に関して，その時代に作成された文字資料や絵画，風刺画，写真などの図像資料から有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・16世紀から18世紀までのヨーロッパ世界の特質とアメリカ・アフリカとの関係を理解し，その知識を身に付けている。	1 重商主義と啓蒙専制主義 ・17～18世紀におけるヨーロッパ主権国家諸国の動向を，重商主義と啓蒙専制主義を柱として理解する。 2 ヨーロッパ諸国の海外進出 ・ヨーロッパ諸国の植民地争奪と大西洋世界の三角貿易のもたらした国際的枠組みを理解する。 3 17～18世紀ヨーロッパの文化と社会 ・17～18世紀におけるヨーロッパ文化の特色と，それを生み出した社会状況を理解する。	・17～18世紀のヨーロッパの状況と他地域へ及ぼした影響を理解し，記述する。

12	第Ⅲ部 第10章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	11	7	・アジア諸地域の繁栄と日本，ヨーロッパの拡大と大西洋世界，産業社会と国民国家の形成，世界市場の形成と日本など，16世紀から19世紀の歴史的事象に対する関心を高め，意欲的に追究しようとしている。	・産業社会と国民国家の形成について，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・16世紀から19世紀の歴史的事象に関して，その時代に作成された文字資料や図像資料を多面的，多角的に考察している。	・16世紀から19世紀までの諸地域世界に関して，その時代に作成された文字資料や絵画，風刺画，写真などの図像資料から有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・産業社会と国民国家の形成を理解し，その知識を身に付けている。	1 産業革命 ・イギリス産業革命の背景と展開，産業資本主義体制の確立とその影響について理解する。 2 アメリカ独立革命 ・アメリカ独立革命の経過と，独立が近代民主政治に与えた影響を理解する。 3 フランス革命とナポレオン ・アメリカ独立革命とフランス革命が近代民主政治に与えた影響を理解する。	・産業革命の影響について，他者に伝える。 ・アメリカ独立戦争が起きた理由とその影響について理解し，記述する。 ・フランス革命の要因とその影響、ナポレオンがもたらした影響について理解し，記述する。
13	第Ⅲ部 第11章 欧米における近代国民国家の発展	11	9	・アジア諸地域の繁栄と日本，ヨーロッパの拡大と大西洋世界，産業社会と国民国家の形成，世界市場の形成と日本など，16世紀から19世紀の歴史的事象に対する関心を高め，意欲的に追究しようとしている。	・産業社会と国民国家の形成について，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・16世紀から19世紀の歴史的事象に関して，その時代に作成された文字資料や図像資料を多面的，多角的に考察している。	・16世紀から19世紀までの諸地域世界に関して，その時代に作成された文字資料や絵画，風刺画，写真などの図像資料から有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・産業社会と国民国家の形成を理解し，その知識を身に付けている。	1 ウィーン体制の成立 ・ウィーン体制の成立と，その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を理解する。 2 ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生 ・クリミア戦争以後の国際秩序の動揺と再編，イタリア・ドイツにおける国民国家の形成過程，ロシア・オーストリアの皇帝主導の近代化を理解する。 3 南北アメリカの発展 ・ラテンアメリカの独立，アメリカ合衆国の領土拡張と南北戦争以後の発展を理解する。 4 19世紀欧米の文化 ・19世紀の欧米文化の特徴とその成立の背景を理解する。	・国民国家の形成を理解し，世界的な影響について記述する。
14	再Ⅲ部 第12章 アジア諸地域の動揺	11 ・ 12	6	・アジア諸地域の繁栄と日本，ヨーロッパの拡大と大西洋世界，産業社会と国民国家の形成，世界市場の形成と日本など，16世紀から19世紀の歴史的事象に対する関心を高め，意欲的に追究しようとしている。	・世界市場の形成と日本について，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・16世紀から19世紀の歴史的事象に関して，その時代に作成された文字資料や図像資料を多面的，多角的に考察している。	・16世紀から19世紀までの諸地域世界に関して，その時代に作成された文字資料や絵画，風刺画，写真などの図像資料から有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・19世紀のアジアの特質とそこでの日本の位置付けを理解し，その知識を身に付けている。	1 オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容 ・西アジアにおけるオスマン帝国支配の動揺と改革，アラブ諸民族の覚醒，イラン・アフガニスタンの動向を理解する。 2 南アジア・東南アジアの植民地化 ・インドの植民地化とその社会の変貌，東南アジア諸国の植民地化の過程を理解する。 3 東アジアの激動 ・ヨーロッパ諸国の干渉による清朝の動揺と近代化改革，日本の開国と台頭による東アジア国際秩序の再編を理解する。 主題学習Ⅲ 資料から読みとく歴史の世界 ・繁栄するアジアに進出したヨーロッパ勢力により世界の一体化が進み，ヨーロッパ優位の「近代」の世界構造が構築されたことを確認する。 ・主題を設定し，選択したその時代の資料を多面的・多角的に考察し，読み解く技能を学ぶ。	・各地域が欧米の進出を受ける背景について理解し，記述する。
15	第Ⅳ部 第13章 帝国主義とアジアの民族運動	12 ・ 1	8	・帝国主義と社会の変容，二つの世界大戦と大衆社会の出現，米ソ冷戦と第三世界，グローバル化した世界と日本など，現代世界に対する関心を高め，地球世界の課題を，歴史的観点から探究しようとしている。	・帝国主義と社会の変容について，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・歴史的観点から，資料を活用して探究し，その成果を論述したり討論したりしている。	・現代世界に関する各種の情報や資料の収集・選択・活用などを行い，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・19世紀後期から20世紀初期までの世界の動向と社会の特質を理解し，その知識を身に付けている。	1 帝国主義と列強の展開 ・帝国主義の特質と，帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解する。 2 世界分割と列強対立 ・帝国主義時代の欧米列強による世界各地の分割や植民地化をめぐる競合と，従属させられた地域社会の抵抗と変容を理解する。 3 アジア諸国の改革と民族運動 ・欧米諸国の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動の形成を理解する。	・帝国主義が世界に与えた影響を理解し，記述する。

16	第Ⅳ部 第14章　二つの世界大戦	1 ・ 2	15	・帝国主義と社会の変容，二つの世界大戦と大衆社会の出現，米ソ冷戦と第三世界，グローバル化した世界と日本など，現代世界に対する関心を高め，地球世界の課題を，歴史的観点から探究しようとしている。	・二つの世界大戦と大衆社会の出現について，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・歴史的観点から，資料を活用して探究し，その成果を論述したり討論したりしている。	・現代世界に関する各種の情報や資料の収集・選択・活用などを行い，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・20世紀前半の世界の動向と社会の特質を理解し，その知識を身に付けている。	1　第一次世界大戦とロシア革命 ・第一次世界大戦とロシア革命が国際秩序に大きな変化をもたらし，20世紀の変動の機転となったことを理解する。 2　ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・国際協調を基調としたヴェルサイユ体制下の欧米諸国の動向を理解する。 3　アジア・アフリカ地域の民族運動 ・中国や東南アジア諸国，インド，トルコや西アジア諸国，アフリカの民族運動の展開を理解する。 4　世界恐慌とファシズム諸国の侵略 ・世界恐慌以降の欧米諸国の動向や東アジアの状況から，国際的な緊張が高まる時代を理解する。 5　第二次世界大戦 ・第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大，米ソの国際的地位の高まりを理解する。	・第一次世界大戦の原因と影響を理解し，他者に伝える。 ・世界恐慌の影響について理解し，記述する。 ・第二次世界大戦の原因と影響を理解し，他者に伝える。
17	第Ⅳ部 第15章　冷戦と第三世界の独立	2 ・ 3	10	・帝国主義と社会の変容，二つの世界大戦と大衆社会の出現，米ソ冷戦と第三世界，グローバル化した世界と日本など，現代世界に対する関心を高め，地球世界の課題を，歴史的観点から探究しようとしている。	・米ソ冷戦と第三世界について，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・歴史的観点から，資料を活用して探究し，その成果を論述したり討論したりしている。	・現代世界に関する各種の情報や資料の収集・選択・活用などを行い，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・第二次世界大戦後から1960年代までの世界の動向を理解し，その知識を身に付けている。	1　戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 ・第二次世界大戦後，米ソを中心とした冷戦体制が成立し，東西両陣営に世界が分裂したことを理解する。 ・中華人民共和国の成立やアジア諸地域の独立の過程を理解する。 2　米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 ・朝鮮戦争などによる米ソ冷戦の激化から，日本・西欧の経済復興や「雪どけ」の始まりによって，国際政治や経済が多極化に向かったことを理解する。 3　第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り ・戦後の20年間に段階的に独立を達成したアジア・アフリカ諸国が第三勢力として躍進し，発言力を強めたことを理解する。 ・米ソの両大国の動揺と国際的な影響力の減退を理解する。 4　石油危機と世界経済の再編 ・ドル＝ショック，オイル＝ショック以降の国際経済の再編，冷戦の終結への流れを理解する。	・第二次世界大戦後から1960年代までの世界の動向を理解し，年表にまとめる。
18	第Ⅳ部 第16章　現在の世界	3	6	・帝国主義と社会の変容，二つの世界大戦と大衆社会の出現，米ソ冷戦と第三世界，グローバル化した世界と日本など，現代世界に対する関心を高め，地球世界の課題を，歴史的観点から探究しようとしている。 ・地球世界の課題に関する適切な主題を設定し，これからの世界と日本の在り方や世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望しようとしている。	・グローバル化した世界と日本について，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ・歴史的観点から，資料を活用して探究し，その成果を論述したり討論したりしている。	・現代世界に関する各種の情報や資料の収集・選択・活用などを行い，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・1970年代以降の世界と日本の動向及び社会の特質を理解し，その知識を身に付けている。	1　社会主義の変容とグローバリゼーションの進展 ・東欧社会主義圏の消滅とソ連邦の解体，1990年代の情報技術革命とグローバル経済の進展を理解する。 2　途上国の民主化と独裁政権の動揺 ・途上国の民主化の進展と，アジア社会主義国家の変容を理解する。 3　地域紛争の激化と深刻化する貧困 ・世界で多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争，紛争解決や軍縮の試みを理解する。 4　現代文明の諸特徴 ・科学技術の発達と現代文明の抱える危機，現代思想や文化の特徴について理解する。 主題学習Ⅳ　資料を活用して探究する地球世界の課題 ・帝国主義の時代からグローバル化した「地球世界」が成立した現代までの歴史を再確認し，その課題から21世紀の世界を展望する。 ・地球世界の課題に関する主題を設定し，選択したその時代の資料を活用して探求し，表現する技能を学ぶ。	・1970年代以降の世界と日本の動向を理解し，年表にまとめる。

令和3年度 地歴・公民科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
日本史B	普通科文系	2年	4
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
山川出版社 『詳説 日本史』		帝国書院 『図説日本史通覧』	

科目の目標	1. 我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させる。 2. 我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見出し、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	我が国の歴史の展開についての基本的な事項を国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身につけている。
評価の方法			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・行動観察 ・提出状況	・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	・定期考査 ・小テスト

「日本史B」 指 導 と 評 価 の 年 間 計 画

福井県立高志高等学校 普通科 2年

単 元 番 号	単 元 名	実 施 月	単 元 の 時 数	評 価 規 準				学 習 内 容	言 語 活 動
				関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	技 能	知 識 ・ 理 解		
				(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)	(評価の方法)		
				・ 行 動 観 察 ・ 提 出 状 況	・ ワークシート ・ レポート ・ プレゼンテーション	・ 資料収集状況 ・ 資料活用状況 ・ 資料分析状況	・ 定期考査 ・ 小テスト ・ 模擬試験		
1	第Ⅰ部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの	4	8	・ 遺跡、遺物、史料などを通して歴史への関心を高めるとともに、歴史資料の特性や文化財保護の重要性に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。また、稲作の伝播が日本社会に及ぼした影響について意欲的に追究している。	・ 遺跡、遺物、史料など様々な歴史資料の特性を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・ 遺跡や遺物、文書など様々な歴史資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・ 資料に基づいて歴史が叙述されていることなど歴史を考察する基本的な方法や文化財保護の重要性について理解している。	1．文化のはじまり ・ 日本における旧石器文化、縄文文化の時代の社会を、発掘調査などの考古学の成果をもとに理解する。 2．農耕社会の成立 ・ 大陸から伝播した稲作及びその文化について、農具や地域性の特徴を踏まえて理解する。 ・ 集落や墓の変容などから身分社会の成立を理解し、小国が形成される過程を東アジア世界との関連付けて理解する。 3．古墳とヤマト政権 ・ 古墳の副葬品をもとに、小国の首長の出現から統一国家の成立過程を理解する。 ・ ヤマト政権の権力伸長について、東アジア世界と関係づけて理解する。	・ 稲作の伝播がその後の日本社会に及ぼした影響について、遺跡や遺物などをもとに、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
2	第2章 律令国家の形成	4	8	・ 原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。また、律令国家の特色について、意欲的に追究している。	・ 古代国家の形成と展開、文化の特色とその成立の背景から課題を見だし、隋・唐など東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・ 原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択している。	・ 古代国家の形成と展開、文化の特色とその成立の背景についての基本的な事柄を、隋・唐など東アジア世界との関係と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	1．飛鳥の朝廷 ・ ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、時代を考察する。 2．律令国家への道 ・ 律令国家が成立するまでの政治の動向と白鳳文化の形成過程について考察する。 ・ 律令に基づく国内統治体制について理解する。 3．平城京の時代 ・ 律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。 ・ 平城京における政治動向について、土地政策も含めて考察する。 4．天平文化 ・ 天平文化における政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目して、古代国家の展開を理解する。 5．平安王朝の形成 ・ 平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。 ・ 東アジアとの関係を踏まえて、唐風文化である弘仁・貞観文化を理解する。	・ 律令に基づく国内体制の整備とその変質について、東アジア世界との関連付けて互いの考えを伝え合い、自らの考えを発展させる。
3	第3章 貴族政治と国風文化	5	15	・ 原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について意欲的に追究している。また、律令国家の変容について、意欲的に追究している。	・ 古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽から課題を見だし、東アジア世界との関係の変化と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・ 原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色に関する情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・ 古代国家の推移、文化の特色とその成立の背景及び中世社会の萌芽についての基本的な事柄を、東アジア世界との関係の変化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	1．摂関政治 ・ 藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察させる。 2．国風文化 ・ 大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化として国風文化が展開されたことを理解する。 3．地方政治の展開と武士 ・ 律令制に基づく地方統治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察する。 ・ 地方の反乱と鎮圧など、武士の成長と進出過程について、源氏などを例にとって考察する。	・ 藤原氏による摂関政治について、年中行事や和歌の視点から事実を正確に理解し、他者に的確に伝達する。

4	第Ⅱ部 中世 第4章 中世社会の成立	6	15	・武士の政界進出や政権樹立などの歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。 ・中世国家と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。	・歴史的事象の推移や変化、相互の因果関係を多面的・多角的に考察し、歴史の展開における諸事象の意味や意義を解釈して、その過程や結果を適切に表現している。 ・中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景から課題を見いだし、宋・元などとの関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・歴史資料を含む諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ・中世国家と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択している。	・歴史の展開における諸事象の意味や意義を理解し、その知識を身に付けている。 ・中世国家の形成過程や社会の仕組み、文化の特色とその成立の背景についての基本的な事柄を、宋・元などとの関係と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	1. 院政と平氏の台頭 ・院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 ・政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性について考察する。 2. 鎌倉幕府の成立 ・鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。 3. 武士の社会 ・承久の乱に伴う公武関係の変化に着目して、将軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を考察する。 ・武士の生活と地方支配を通じて、土地に対する実質的な支配権を地頭が掌握するに至った過程を考察する。 4. 蒙古襲来と幕府の衰退 ・蒙古襲来による政治・経済・文化への影響が幕府の衰退につながっていくことを理解する。 5. 鎌倉文化 ・庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。	・平氏政権及び源氏政権の貴族性について事実を正確に理解し、他者に的確に伝達する。
5	第5章 武家社会の成長	6 7	15	・中世国家と諸産業が発達した社会や武家文化・公家文化の特色について意欲的に追究している。	・中世社会の多様な展開、武家文化・公家文化の特色とその成立の背景から課題を見いだし、日明貿易など東アジア世界との関係と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	・中世国家と諸産業が発達した社会や武家文化・公家文化の特色に関する情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・中世社会の多様な展開、武家文化・公家文化の特色とその成立の背景についての基本的な事柄を、日明貿易など東アジア世界との関係と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	1. 室町幕府の成立 ・南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。 ・琉球・蝦夷ヶ島を含む東アジアとの交流が中世日本にもたらした影響について理解する。 2. 幕府の衰退と庶民の台頭 ・庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。 ・諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。 3. 室町文化 ・武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流に着目して、武家文化と公家文化及び大陸文化と伝統文化のかかわりについて理解する。 ・庶民文化の萌芽や、応仁の乱を契機とした文化の地方伝播、戦国大名の保護による文化の地方普及を理解する。 4. 戦国大名の登場 ・応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連づけて考察する。	・各自の関心に基づいて選んだ戦国大名について、その出自、領国支配、盛衰を人物評伝としてまとめ発表する。
6	第Ⅲ部 近世 第6章 幕藩体制の確立	9	7	・大名知行制など歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。	・歴史的事象をめぐる複数の歴史的解釈について多面的・多角的に考察するとともにそれぞれの根拠や論理を踏まえて公正に判断して、筋道立てて考えを説明している。	・歴史的事象をめぐる複数の歴史的解釈に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・歴史的事象には複数の歴史的解釈が成り立つことに気付き、それぞれの根拠や論理を踏まえて筋道立てて考えを説明することの意義を理解し、その知識を身に付けている。	1. 織豊政権 ・大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。 ・織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について考察する。 2. 桃山文化 ・新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し、時代的背景を踏まえて考察する。 3. 幕藩体制の成立 ・江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を考察する。 ・江戸幕府の鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではなく、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について考察する。 4. 幕藩社会の構造 ・幕藩体制の確立期の経済・社会を兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。	幕藩体制の特徴について、経済、社会、思想の観点から事実を正確に理解し他者に伝達する。
7	第7章 幕藩体制の展開	9	7	・近世国家と社会や上方文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。	・近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みから課題を見いだし、ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係と関係付けて多面的・多角的に考察するとともに公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・近世国家と社会や上方文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択している。	・近世国家の形成過程とその特色や社会の仕組みについての基本的な事柄を、ヨーロッパ世界との接触やアジア各地との関係と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	1. 幕政の安定 ・17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。 2. 経済の発展 ・幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察する。 3. 元禄文化 ・経済の発展と関連して町人文化が形成された事について、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。	町人文化の成立について、各人の関心に基づいて選んだ人物の評伝を作成し、互いに展示し発表する。

8	第8章 幕藩体制の動揺	10	15	・近世国家と社会や江戸文化の特色について意欲的に追究している	・近世の都市や農山漁村における生活や江戸文化の特色とその成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成から課題を見だし、欧米諸国のアジアへの進出と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・近世国家と社会や江戸文化の特色に関する情報を読み取ったり図表などにまとめている。	・近世の都市や農山漁村における生活や江戸文化の特色とその成立の背景、幕藩体制の変容と近代化の基盤の形成についての基本的な事柄を、欧米諸国のアジアへの進出と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	1. 幕政の改革 ・農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩が行った諸改革の意義とその影響を考察する。 2. 宝暦・天明期の文化 ・江戸中期に確立した洋学や国学、新たな形で展開する文学・芸能・美術について、社会の変容に伴う幕藩体制の動揺と関連づけて考察する。 3. 幕府の衰退と近代への道 ・欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を考察する。 ・近代化の基盤の形成について、産業経済面や軍事面などに着目して、雄藩の浮上という地方からの視点から考察する。 4. 化政文化 ・化政文化について、学問・思想・教育・文学・美術・生活文化の新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。	・幕政改革や幕府衰退の経済的要因・外圧的要因について、事実を正確に理解し、他者に的確に伝達する。
9	第Ⅳ部 近代・近現代 第9章 近代国家の成立	10	15	・近代国家の形成と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。 ・近代国家の形成と社会や文化の特色について意欲的に追究している。	・明治維新以降の我が国の近代化の推進過程から課題を見だし、開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化・思想の影響や国際環境の変化と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 ・我が国の立憲国家としての展開から課題を見だし、条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 ・近代産業の発展の経緯や近代文化の特色とその成立の背景から課題を見だし、国民生活の向上と社会問題の発生、学問の発展や教育制度の拡充と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・近代国家の形成と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択している。 ・近代国家の形成と社会や文化の特色に関する情報を読み取ったり図表などにまとめている。	・明治維新以降の我が国の近代化の推進過程についての基本的な事柄を、開国と幕府の滅亡、文明開化など欧米の文化思想の影響や国際環境の変化と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。 ・我が国の立憲国家としての展開についての基本的な事柄を、条約改正、日清・日露戦争とその前後のアジア及び欧米諸国との関係の推移と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	1. 開国と幕末の動乱 ・国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、開国から明治維新に至るまでの過程を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。 ・幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一掃に至るまでの経過を理解する。 2. 明治維新と富国強兵 ・明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、明治初期の政治的変革と国家的統一過程を考察する。 ・欧米の文化・思想の導入と一連の近代化政策に対する反動としての士族反乱・農民一揆の失敗と、言論による要求実現への転換を理解する。 ・明治初期の対外政策について、欧米への対応と、アジアに対する外交政策の違いについて考察する。 3. 立憲国家の成立と日清戦争 ・政府の強力な中央集権体制の志向の中、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。 ・東アジアをめぐる国際環境が変容するなか、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について考察する。 4. 日露戦争と国際関係 ・開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進を諸外国の動向と関連付けて考察する。	・明治維新の実現について、各自の関心に基づいて選んだ人物の評論を作成し、互いに展示し発表する。

10	第10章　二つの世界大戦とアジア	11	15	・近代国家の展開と社会や文化の特色に対する関心と課題意識を高めている。 ・近代国家の展開と社会や文化の特色について意欲的に追究している。	・政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景から課題を見だし、政治や社会運動の動向、都市の発達と農山漁村の変化及び文化の大衆化と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 ・第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響から課題を見だし、国際社会の中の日本の立場と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・近代国家の展開と社会や文化の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択している。 ・近代国家の展開と社会や文化の特色に関する情報を読み取ったり図表などにまとめている。	・政党政治の発展、大衆社会の特色とその成立の背景についての基本的な事柄を、政治や社会運動の動向、都市の発達と農山漁村の変化及び文化の大衆化と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。 ・第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について、基本的な事柄を、国際社会の中の日本の立場と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。 ・対外政策の推移と戦時体制の強化など日本の動向と第二次世界大戦との関わりについての基本的な事柄を、国際社会の動向、アジア近隣諸国との関係と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	1．第一次世界大戦と日本 ・第一次世界大戦前後の政治の動向及び対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて考察する。 ・第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関連や政党内閣の成立などと関連させて考察する。 2．ワシントン体制 ・ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して考察する。 ・民主主義的風潮による社会運動の動向を理解すると共に、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣制成立に至るまでの意義について考察する。 3．市民生活の変容と大衆文化 ・労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や国民生活の変化を踏まえて、市民文化の特色について考察する。 4．恐慌の時代 ・戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。 ・社会主義運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。 5．軍部の台頭 ・日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について考察する。 ・恐慌から脱出し、国家主義が高揚するなかで、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。 6．第二次世界大戦 ・日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入にいたる過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。 ・第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前的惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。	・日中戦争から太平洋戦争に至る過程について、資料をもとにその要因を分析し論述する。
11	第11章　占領下の日本	12 1	8	・現代の社会や国民生活の特色に対する関心と課題意識を高めている。	・我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移から課題を見だし、占領政策と諸改革、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・現代の社会や国民生活の特色に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択している。	・我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移についての基本的な事柄を、占領政策と諸改革、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	1．占領と改革 ・戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を考察する。 ・戦後政治の動きを踏まえて、集大成となる日本国憲法制定の意義を理解する。 2．冷戦の開始と講和 ・東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考える。 ・連合国による日本占領の終結と、その後の日米関係の継続について、様々な国の立場から考察する。	・GHQによる戦後の占領政策の特徴について、事実を正確に理解し、他者に的確に伝達する。
12	第12章　高度成長の時代	2	8	・現代の社会や国民生活の特色について意欲的に追究している。	・日本経済の発展と国民生活の変化から課題を見だし、戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・現代の社会や国民生活の特色に関する情報を読み取ったり図表などにまとめている。	・日本経済の発展と国民生活の変化についての基本的な事柄を、戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	1．55年体制 ・独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を考察する。 ・冷戦構造に雪解けの状況が生まれる中、日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。 2．経済復興から高度成長へ ・朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。 ・消費革命による社会の変貌と経済成長がもたらしたひずみである社会問題について考察する。	・高度経済成長と日本文化の変容について、家族や知人などから実体験に基づく情報を収集し発表する。
13	第13章　激動する世界と日本	2 3	4	・社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などに対する関心と課題意識を高め、意欲的に探究し、考えを論述しようとしている。	・社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などから課題を見だし、適切な主題を設定して多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、考えを論述している。	・社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などに関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめている。	・社会と個人、世界の中の日本、地域社会の歴史と生活などについて総合的に理解し、その知識を身に付けている。	1．経済大国への道 ・ドル＝ショックや、石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を考察する。 ・高度成長が終焉し、保守政権が動揺するなか、二度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察する。 2．冷戦終結と日本社会の動揺 ・冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的にとらえる。 ・科学技術・産業の発達によって派生する環境問題やエネルギー問題などの日本の課題とそれに対する日本の役割を認識する。	・科学技術・産業の発達によって派生する環境問題やエネルギー問題とその課題について、他者との話し合いを通じて問題意識を深める。

令和3年度 地歴・公民科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
地理B	普通科文系	2年	4
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
帝国書院 『新詳 地理B』		とうほう 『新編 地理資料』	

科目の目標	1. 現代世界の地理的事象を系統地理的、地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養う。 2. 地理的な見方や考え方を培い、国際社会を主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・現代世界の地理的事象について、関心を高めることができたか。 ・意欲的に学習課題を追究していたか。 ・よりよい国際社会の実現に主体的に行動する態度を身につけられたか。	・現代世界のさまざまな事象を地理的事象としてとらえることができたか。また、課題を見出すことができたか。 ・系統地理的、地誌的な考察の方法を身につけることができたか。	・地理的事象を追及するのに必要な地図や統計、画像などの収集、活用、表現法といった技能を身につけることができたか。 ・学習の中で追及し考察した過程や結果について、さまざまな方法で適切に表現する方法を身につけることができたか。	・現代世界の地理的事象についての基本的な追及の方法を理解し、その知識を身につけることができたか。
評価の方法			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
・行動観察 ・提出状況	・ワークシート ・レポート ・プレゼンテーション	・資料収集状況 ・資料活用状況 ・資料分析状況	・定期考査 ・小テスト ・模擬試験

「地理B」指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校 普通科文系 2年

単 元 番 号	単 元 名	実 施 月	単 元 の 時 数	評 価 規 準				学 習 内 容	言 語 活 動
				関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	技 能	知 識 ・ 理 解		
				(評価の方法) ・ 行動観察 ・ 提出状況	(評価の方法) ・ ワークシート ・ レポート ・ プレゼンテーション	(評価の方法) ・ 資料収集状況 ・ 資料活用状況 ・ 資料分析状況	(評価の方法) ・ 定期考査 ・ 小テスト ・ 模擬試験		
1	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 1節 世界の地形	4	8	・ 世界の特色ある地形と人間生活の関わりを、関心を持って学習しようとしている。	・ 世界の特色ある地形と人間生活の関わりを、具体事例を通して多角的に考察している。	・ 世界の特色ある地形と人間生活の関わりについて、教科書に掲載されている模式図や写真を適切に活用している。	・ 世界の特色ある地形と人間生活の関わりについて、基本的な知識を身につけている。	世界の地形 ・ 世界の特色ある地形と人間生活の関わりを、具体事例を通して多角的に理解する。	・ 世界の特色ある地形と人間生活の関わりを、具体事例を通して、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
2	第Ⅰ部 さまざまな地図と地理的技能 1章 地理情報と地図 2章 地図の活用と地域調査	4 ・ 5	8	・ 地図は使用目的に応じてさまざまな形態があることについて、関心を持って学習しようとしている。 ・ 地域調査を通して地域の複雑な現象や問題を、関心を持って学習しようとしている。	・ 地図は使用目的に応じてさまざまな形態があることについて、多角的に考察している。 ・ 地域調査を通して地域の複雑な現象や問題を、多角的に考察している。	・ 地形図や統計地図を適切に活用している。 ・ 地域調査において、実際の地域調査を通して資料を適切に活用している。	・ 地図は使用目的に応じてさまざまな形態があることについて、基本的な知識を身につけている。 ・ 地域調査を通して地域の複雑な現象や問題について、基本的な知識を身につけている。	地理情報と地図 ・ 地図は使用目的に応じてさまざまな形態があることについて、多角的に理解する。 地図の活用と地域調査 ・ 地域調査を通して地域の複雑な現象や問題を、多角的に理解する。	・ 地域調査を通して地域の複雑な現象や問題を、具体事例を通して、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
3	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 2節 世界の気候	5 ・ 6	8	・ 気候を構成している気候要素について、関心を持って学習しようとしている。 ・ 世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、関心を持って学習しようとしている。	・ 気候を構成している気候要素について、多角的に考察している。 ・ 世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、多角的に考察している。	・ 気候を構成している気候要素について、教科書に掲載されている模式図や写真、地図を適切に活用している。 ・ 世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、教科書に掲載されている模式図や写真、地図を適切に活用している。	・ 気候を構成している気候要素について、基本的な知識を身につけている。 ・ 世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、基本的な知識を身につけている。	世界の気候 ・ 気候を構成している気候要素について、具体事例を通して多角的に理解する。 ・ 世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、具体事例を通して多角的に理解する。	・ 世界の気候区や土壌帯、植生の特色と人間生活の関わりについて、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
4	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 3節 日本の自然の特徴と人々の生活	6	2	・ 日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、関心を持って学習しようとしている。	・ 日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、多角的に考察している。	・ 日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、教科書に掲載されている模式図や写真、地図を適切に活用している。	・ 日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、基本的な知識を身につけている。	日本の自然の特徴と人々の生活 ・ 日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、具体事例を通して多角的に理解する。	・ 日本列島の地体構造や地形、気候の特色について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
5	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境 4節 環境問題	6	4	・ 熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、関心を持って学習しようとしている。	・ 熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、具体例を通して問題解決の取り組みを、多角的に考察している。	・ 熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・ 熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、基本的な知識を身につけている。	環境問題 ・ 熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、具体事例を通して多角的に理解する。	・ 熱帯林の破壊や砂漠化、酸性雨などさまざまな環境問題の現状について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。

6	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 1節 産業の発達と変化 2節 世界の農林水産業	6	6	・世界の農業に影響を与える要因について、関心を持って学習しようとしている。 ・世界の農林水産業について、社会と自然の関わりについて、関心を持って学習しようとしている。	・世界の農業に影響を与える要因について、多角的に考察している。 ・世界の農林水産業について、社会と自然の関わりについて、多角的に考察している。	・世界の農業に影響を与える要因について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・世界の農林水産業について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・世界の農業に影響を与える要因について、基本的な知識を身につけている。 ・世界の農林水産業について、基本的な知識を身につけている。	産業の発達と変化 世界の農林水産業 ・世界の農業に影響を与える要因について、具体事例を通して多角的に理解する。 ・世界の農林水産業について、社会と自然の関わりについて、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の農業に影響を与える要因について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・世界の農林水産業について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
7	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 3節 食料問題	7	12	・世界の食料問題の現状について、関心を持って学習しようとしている。	・世界の食料問題の現状とその原因について、多角的に考察している。	・世界の食料問題の現状について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・世界の食料問題の現状とその原因について、基本的な知識を身につけている。	食料問題 ・世界の食料問題の現状について、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の食料問題の現状とその原因について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
8	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 4節 世界のエネルギー・鉱産資源 5節 資源・エネルギー問題	7 ・ 8	6	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、関心を持って学習しようとしている。 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みを、関心を持って学習しようとしている。	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、多角的に考察している。 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みを、多角的に考察している。	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・資源・エネルギー問題について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、基本的な知識を身につけている。 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みについて、基本的な知識を身につけている。	世界のエネルギー・鉱産資源 ・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、具体事例を通して多角的に理解する。 資源・エネルギー問題 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みを、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界のエネルギー・鉱産資源の分布や生産と消費について、その特色と基礎的知識を、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・資源・エネルギー問題について、問題解決の取り組みを、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
9	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 6節 世界の工業	9	14	・さまざまな工業の特色と立地条件について、関心を持って学習しようとしている。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、関心を持って学習しようとしている。	・さまざまな工業の特色と立地条件について、多角的に考察している。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、多角的に考察している。	・さまざまな工業の特色と立地条件について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・さまざまな工業の特色と立地条件について、基本的な知識を身につけている。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、基本的な知識を身につけている。	資源と産業 ・さまざまな工業の特色と立地条件について、具体事例を通して多角的に理解する。 世界の工業 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど、具体事例を通して多角的に理解する。	・さまざまな工業の特色と立地条件について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・工業地域の特色や変化について、ヨーロッパやアジアNIESなど具体的な事例をとおして、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
10	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 7節 第3次産業	9 ・ 10	14	・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、関心を持って学習しようとしている。	・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、多角的に考察している。	・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、基本的な知識を身につけている。	第3次産業 ・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、具体事例を通して多角的に理解する。	・行動圏の急速な拡大と消費・余暇活動の増大が、諸地域にさまざまな形で影響を与えているということを、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
11	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 8節 世界を結ぶ交通・通信	10 ・ 11	14	・世界の交通網の地域差とその発達について、関心を持って学習しようとしている。 ・情報化社会における現状と課題について、関心を持って学習しようとしている。	・世界の交通網の地域差とその発達について、多角的に考察している。 ・情報化社会における現状と課題について、多角的に考察している。	・世界の交通網の地域差とその発達について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・情報化社会における現状と課題について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・世界の交通網の地域差とその発達について、基本的な知識を身につけている。 ・情報化社会における現状と課題について、基本的な知識を身につけている。	世界を結ぶ交通・通信 ・世界の交通網の地域差とその発達について、具体事例を通して多角的に理解する。 ・情報化社会における現状と課題について、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の交通網の地域差とその発達について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・情報化社会における現状と課題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
12	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 2章 資源と産業 9節 現代世界の貿易と経済圏	12	6	・貿易における国際分業や貿易の種類について、関心を持って学習しようとしている。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、関心を持って学習しようとしている。	・貿易における国際分業や貿易の種類について、多角的に考察している。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、多角的に考察している。	・貿易における国際分業や貿易の種類について、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、教科書に掲載されている統計や写真、地図を適切に活用している。	・貿易における国際分業や貿易の種類について、基本的な知識を身につけている。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、基本的な知識を身につけている。	現代世界の貿易と経済圏 ・貿易における国際分業や貿易の種類について、具体事例を通して多角的に理解する。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、具体事例を通して多角的に理解する。	・貿易における国際分業や貿易の種類について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・日本の貿易の特徴と課題について、世界とのかかわりから、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。

13	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 3章 人口・村落・都市 1節 世界の人口 2節 人口問題	12	6	・世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、関心を持って学習しようとしている。 ・発展途上国の人口問題について、関心を持って学習しようとしている。 ・先進国の人口問題について、関心を持って学習しようとしている。	・世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、多角的に考察している。 ・発展途上国の人口問題について、多角的に考察している。 ・先進国の人口問題について、多角的に考察している。	・世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、統計や写真、地図を適切に活用している。 ・発展途上国の人口問題について、統計や写真、地図を適切に活用している。 ・先進国の人口問題について、統計や写真、地図を適切に活用している。	・世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、基本的な知識を身につけている。 ・発展途上国の人口問題について、基本的な知識を身につけている。 ・先進国の人口問題について、基本的な知識を身につけている。	世界の人口 ・世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、具体事例を通して多角的に理解する。 人口問題 ・発展途上国の人口問題について、具体事例を通して多角的に理解する。 ・先進国の人口問題について、具体事例を通して多角的に理解する。	・世界の人口分布のかたよりを、自然環境や産業活動の面から、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・発展途上国の人口問題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・先進国の人口問題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
14	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 3章 人口・村落・都市 3節 村落と都市 4節 都市・居住問題	1	12	・村落と都市の形態による分類と特色、発達について、関心を持って学習しようとしている。 ・都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、関心を持って学習しようとしている。	・村落と都市の形態による分類と特色、発達について、多角的に考察している。 ・都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、多角的に考察している。	・村落と都市の形態による分類と特色、発達について、統計や写真、地図を適切に活用している。 ・都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、統計や写真、地図を適切に活用している。	・村落と都市の形態による分類と特色、発達について、基本的な知識を身につけている。 ・都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、基本的な知識を身につけている。	村落と都市 ・村落と都市の形態による分類と特色、発達について、具体事例を通して多角的に理解する。 都市・居住問題 ・都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、具体事例を通して多角的に理解する。	・村落と都市の形態による分類と特色、発達について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・都市への過度の人口集中によって生じるさまざまな都市問題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
15	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 4章 生活文化、民族・宗教 1節 生活文化	2	4	・気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、関心を持って学習しようとしている。	・気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、多角的に考察している。	・気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、統計や写真、地図を適切に活用している。	・気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、基本的な知識を身につけている。	生活文化 ・気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、具体事例を通して多角的に理解する。	・気候や植生の違いが衣食住の違いを生み、文化の差異を作り出していることについて、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
16	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 4章 生活文化、民族・宗教 2節 民族と宗教	2・3	8	・人種・民族の分類などについて、関心を持って学習しようとしている。 ・諸民族の生活の特色について、関心を持って学習しようとしている。	・人種・民族の分類などについて、多角的に考察している。 ・諸民族の生活の特色について、多角的に考察している。	・人種・民族の分類などについて、統計や写真、地図を適切に活用している。 ・諸民族の生活の特色について、統計や写真、地図を適切に活用している。	・人種・民族の分類などについて、基本的な知識を身につけている。 ・諸民族の生活の特色について、基本的な知識を身につけている。	民族と宗教 ・人種・民族の分類などについて、具体事例を通して多角的に理解する。 ・諸民族の生活の特色について、具体事例を通して多角的に理解する。	・人種・民族の分類などについて、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・諸民族の生活の特色について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
17	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 4章 生活文化、民族・宗教 3節 現代世界の国家 4節 民族・領土問題	3	4	・国家の三要素や、国家の様々な形態について、関心を持って学習しようとしている。 ・民族・領土問題について、関心を持って学習しようとしている。	・国家の三要素や、国家の様々な形態について、多角的に考察している。 ・民族・領土問題について、多角的に考察している。	・国家の三要素や、国家の様々な形態について、統計や写真、地図を適切に活用している。 ・民族・領土問題について、統計や写真、地図を適切に活用している。	・国家の三要素や、国家の様々な形態について、基本的な知識を身につけている。 ・民族・領土問題について、基本的な知識を身につけている。	現代世界の国家 ・国家の三要素や、国家の様々な形態について、具体事例を通して多角的に理解する。 民族・領土問題 ・民族・領土問題について、具体事例を通して多角的に理解する。	・国家の三要素や、国家の様々な形態について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・民族・領土問題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。
18	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分 2章 現代世界の諸地域	3	4	・気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、関心を持って学習しようとしている。 ・各地域の概況や抱えている課題について、関心を持って学習しようとしている。	・気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、多角的に考察している。 ・各地域の概況や抱えている課題について、多角的に考察している。	・気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、統計や写真、地図を適切に活用している。 ・各地域の概況や抱えている課題について、統計や写真、地図を適切に活用している。	・気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、基本的な知識を身につけている。 ・各地域の概況や抱えている課題について、基本的な知識を身につけている。	現代世界の地域区分 ・気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、具体事例を通して多角的に理解する。 現代世界の諸地域 ・各地域の概況や抱えている課題について、具体事例を通して多角的に理解する。	・気候や文化、所得などさまざまな観点による地域区分の目的や意義について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。 ・各地域の概況や抱えている課題について、互いの意見を伝え合うことによって自らの考えを発展させる。

令和3年度 数学科 指導と評価の年間計画

学校名

福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
数学Ⅲ	普通科(内進)文系	2年	3単位
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍 数学Ⅲ Advanced		参考書 数研出版 チャート式 基礎からの数学Ⅲ	

科目の目標	平面上の曲線，複素数平面，極限，微分法および積分法について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	数学的な見方・考え方	数学的な技能	知識・理解
平面上の曲線と複素数平面，極限，微分法および積分法に関心をもつとともに，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，平面上の曲線と複素数平面，極限，微分法および積分法における数学的な見方や考え方を身に付けている。	平面上の曲線と複素数平面，極限，微分法および積分法において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	平面上の曲線と複素数平面，極限，微分法および積分法における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身に付けている。

実施月	章の内容	指導内容 節ごと	配当 時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	数学的な見方考え方	数学的な技能	知識・理解	
7	第3章 関数と極限	第1節 関数	6	・分数関数・無理関数・合成関数・逆関数について関心をもち、それらに関数の考察に活用しようとしている。	・分数関数や無理関数の値の変化についてグラフを用いて考察することができる。 ・合成関数や逆関数などの関数の概念について考察することができる。	・分数関数や無理関数のグラフをかくことができる。またグラフを利用して、方程式、不等式を解くことができる。 ・2つの関数の合成関数やある関数の逆関数を求めることができる。	・分数関数や無理関数，合成関数，逆関数の定義や性質を理解している。	小テスト チャートノート
		第3節 関数の極限	9	・関数の極限を調べることに関心をもち、それを具体的な事象の考察に活用しようとしている。	・関数の極限値を求めることで、関数の連続性の概念について考察することができる。	・いろいろな関数について，極限の様子を調べたり，極限値を求めたりすることができる。また，連続性を調べることができる。	・いろいろな関数の極限の様子や，関数の連続性について理解している。	小テスト チャートノート
9	第4章 微分	第1節 微分法	7	・微分の概念に関心をもち，積や商の微分法や，合成関数，逆関数の微分法について考えようとしている。	・微分の定義に基づいて，積・商の微分法，合成関数，逆関数の微分法について考察することができる。	・積・商の導関数や合成関数や逆関数の導関数を求めることができる。	・微分の定義について理解している。また，積・商の微分公式や，合成関数，逆関数の微分法について理解している。	小テスト チャートノート
		第2節 いろいろな関数の導関数	7	・三角関数や指数・対数関数などの微分公式や，積・商の微分法，合成関数の微分法などを活用して，いろいろな関数の微分法について考えようとしている。	・微分の定義から，三角関数や指数・対数関数などいろいろな関数の導関数の求め方について考察することができる。	・三角関数や指数・対数関数などの微分公式や，積・商の微分法，合成関数の微分法などを用いて，いろいろな関数の導関数や，高次導関数を求めることができる。	・三角関数や指数・対数関数の微分公式を理解している。 ・高次導関数の意味について理解している。	小テスト チャートノート 前期期末考査
10	第1章 平面上の曲線	第1節 2次曲線	6	・放物線，楕円，双曲線の定義やそれらの性質に関心をもち，2次曲線の性質について考察を深め活用しようとする。	・2次曲線の性質やそれを表す方程式の特徴について考察することができる。	・2次曲線の方程式から，焦点や軸，準線，漸近線の方程式などを求め，グラフをかくことができる。	・放物線，楕円，双曲線の定義とそれらに関連する用語や概念を理解している。	小テスト チャートノート
		第2節 媒介変数表示と極座標	4	・媒介変数表示を用いる有用性を理解し，それらをいろいろな曲線の考察に活用しようとする。	・媒介変数表示を用いて，サイクロイドなどの具体的な曲線の性質について考察することができる。	・媒介変数表示を用いて，いろいろな曲線を表すことができる。	・直交座標と曲線の媒介変数表示との関係を理解している。	小テスト チャートノート

11	第 5 章 微分の応用	第 1 節 接線、関数の増減	11	・微分を用いて関数の増減や極値，最大値・最小値を求めることに関心をもち，それらを具体的な事象の考察に活用しようとしている。	・導関数を用いて，関数の値の変化の様子について考察することができる。 ・不等式の証明をするために関数の増減や極限を求めるなど，関数を多面的に考察することができる。	・いろいろな曲線において，与えられた条件を満たす接線の方程式を求めることができる。 ・いろいろな関数の増減を調べたり，極値，最大値・最小値を求めたりすることができる。また，関数のグラフの概形をかくことができる。	・微分係数の図形的な意味について理解している。 ・導関数の符号と関数の増減の関係を理解している。	小テスト チャートノート 後期中間考査①
12		第 2 節 微分のいろいろな応用	10	・運動の速度・加速度と微分の関係に関心をもち，それらを点の動きの考察に活用しようとしている。	・2次導関数と，グラフの凹凸の関係について考察することができる。 ・微分を用いて，直線上や平面上を運動する点の動きを調べることができる。	・2次導関数を利用して，グラフの概形をかくことができる。 ・直線上や平面上を運動する点の速度，加速度を求めることができる。	・2次導関数の符号とグラフの凹凸の関係を理解できる。 ・運動の速度・加速度と微分の関係について理解している。 ・媒介変数表示された関数の導関数の求め方を理解している。	小テスト チャートノート
	第 6 章 積分とその応用	第 1 節 不定積分	7	・微分法についての知識を基に，いろいろな関数の不定積分の求め方について考察しようとしている。	・合成関数の微分法や積の微分法を基に，置換積分法や部分積分法について考察することができる。	・置換積分法や部分積分法を利用して，いろいろな関数の不定積分を求めることができる。	・微分法と積分法の関係を理解している。 ・置換積分法と部分積分法を理解している。	小テスト チャートノート
1		第 2 節 定積分	10	・不定積分の方法を基に，いろいろな関数の定積分の求め方について考察しようとしている。	・定積分とその微分との関係から，定積分についての考察を深めることができる。	・置換積分，部分積分を利用して，いろいろな関数の定積分を求めることができる。	・定積分の意味や求め方，性質について理解している。	小テスト チャートノート 後期中間考査②
		第 3 節 面積・体積・長さ	14	・定積分で図形の面積が求められることに関心をもち，それらを用いていろいろな図形の面積を求めようとしている。	・いろいろな関数のグラフで囲まれた図形について，よりよい面積の求め方を考察することができる。	・いろいろな関数のグラフで囲まれた図形の面積を，定積分を用いて求めることができる。	・関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について理解している。	小テスト チャートノート
2				・定積分で立体や回転体の体積が求められることに関心をもち，それらを用いて立体の体積を求めようとしている。 ・定積分で媒介変数表示された曲線の長さが求められることに関心をもち，それらを用いて曲線の長さを求めようとしている。	・いろいろな立体や回転体について，よりよい体積の求め方を考察することができる。 ・媒介変数表示された曲線の長さが定積分で求められることについて考察することができる。	・定積分を用いて，立体や回転体の体積を求めることできる。 ・媒介変数表示された曲線についてその長さを求めることができる。	・切り口の面積が分かっている立体や回転体の体積を求める方法について理解している。 ・媒介変数表示された曲線について，その長さを求める方法を理解している。	
		第 2 章 複素数平面	第 1 節 複素数平面	6	・複素数を極形式で表したり，複素数平面上に図示したりすることに関心をもち，それらを用いて複素数についての考察や具体的事象についての考察をしようとする。	・複素数平面の性質を活用したり，複素数を極形式で表したりして，図形的な意味と関連させて複素数についての考察をすることができる。	・複素数を極形式で表したり，その演算を図示したりすることができる。 ・ド・モアブルの定理を用いて，極形式で表された複素数の n 乗の値を求めることができる。	・複素数平面の定義および複素数の和，差，実数倍，絶対値などの図形的な意味を理解している。 ・複素数の極形式および複素数の積の図形的意味を理解している。
3	第 2 節 図形への応用		8	・複素数を用いたいろいろな表現と複素数平面上の図形との関連に関心をもち，図形の考察に複素数の性質を用いようとする。	・複素数の演算と複素数平面上の図形との関連を活用して，2点の内分および外分点，任意の点を中心とする回転などの図形の考察をすることができる。	・複素数平面上にある2点の内分および外分点を表す複素数，任意の点を中心に回転させた点を表す複素数を複素数の性質を用いて求めることができる。	・複素数平面上の図形と，複素数を用いた表示との関連を理解している。	小テスト チャートノート
			105					

令和3年度 数学科 指導と評価の年間計画

学校名

福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
数学B	普通科(内進生)文系	2年	2単位
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍 数学B Advanced		問題集 数研出版 サクシード 数学Ⅱ＋B 参考書 数研出版 チャート式 基礎からの数学Ⅱ＋B	

科目の目標	数列およびベクトルについて理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	数学的な見方・考え方	数学的な技能	知識・理解
数学的活動を通して，数列またはベクトルの考え方に関心をもつとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用しようとしている。	数学的活動を通して，数列またはベクトルの考えにおける数学的な見方や考え方を身につけ，事象を数学的に捉え，論理的に考察し，表現するとともに，過程を振り返り多面的・発展的に考えることができる。	数学的活動を通して，数列またはベクトルの考えにおいて，事象を数学的に考察し，処理する仕方や推論の方法を身につけ，的確に問題を解決することができる。	数学的活動を通して，数列またはベクトルの考えにおける基本的な概念，原理・法則，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身につけている。

「数学B」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年 福井県立高志高等学校 普通科（内進生） 2年（文系）

実施月	章の内容	指導内容 節ごと	配当 時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	数学的な見方考え方	数学的な技能	知識・理解	
4	第2章 ベクトル	第2節 ベクトル の応用	5	・ベクトルの概念や表現の仕方に関心をもち，平面図形の性質の考察に活用しようとしている。	・図形の性質の証明や計量について，ベクトルを用いて考察することができる。	・位置ベクトルやベクトル方程式などを適切に用いて，図形の性質の証明や計量を行うことができる。	・位置ベクトルやベクトル方程式の意味を理解している。	サクシードノート 小テスト 中間考查①
4		第3節 空間におけるベクトル	11	・空間座標や空間ベクトルの概念，表現の仕方に関心をもち，それらを空間図形の考察に活用しようとしている。	・空間図形の性質の証明や計量について，空間座標や空間ベクトルを用いて考察することができる。	・空間座標や空間ベクトルを適切に用いて，図形の性質の証明や計量を行うことができる。	・空間における分点や平面上の点のを，空間座標や空間ベクトルを用いて表したり求めたりする方法を理解している。	サクシードノート 小テスト
5	第1章 数列	第1節 数列	15	・等差数列・等比数列の仕組みに関心をもち，それらを一般項や和の考察に活用しようとしている。 ・数列の和において， Σ 記号を利用しようとしている。 ・いろいろな数列の規則性に関心をもち，それを一般項や和を求める考察に活用しようとしている。	・等差数列・等比数列の仕組みから，一般項やその和を求めることができる。 ・数列の和において， Σ 記号を利用して考察することができる。 ・いろいろな数列の規則を見つけ，一般項やその和を求めることができる。	・等差数列・等比数列の仕組みから，一般項やその和を求めることができる。 ・数列の和を Σ 記号を利用して表したり，その計算ができる。 ・いろいろな数列の規則性を利用して，一般項やその和を求めることができる。	・等差数列・等比数列の仕組みを理解している。 ・ Σ 記号の意味を理解している。 ・いろいろな数列について，その規則性を見つける方法を理解している。	サクシードノート 小テスト 週末課題 前期中間考查②
5		第2節 漸化式と 数学的帰納法	13	・漸化式から一般項を導いたり，漸化式や数学的帰納法を事象の考察に活用しようとしている。	・漸化式から一般項を導く方法を考えることができる。 ・自然数に関する等式や不等式などの証明で，数学的帰納法の適用することができる。	・漸化式から一般項を導くことができる。 ・数学的帰納法を利用して，自然数に関する等式や不等式などの証明をすることができる。	・漸化式の意味や，その仕組みを理解している。 ・数学的帰納法の仕組みを理解している。	サクシードノート 小テスト 週末課題 前期中間考查②
		章末問題	2					
6	数学B 総合演習		24	数列およびベクトルに関心をもつとともに、事象の考察に活用し、数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数列およびベクトルにおける数学的な見方や考え方を身に付けている。	数列およびベクトルにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数列およびベクトルにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。	サクシードノート 小テスト 週末課題 前期期末考查
7								
			70					

令和3年度 数学科 指導と評価の年間計画

学校名

福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
数学ia/iib	普通科(内進生)文系	2年	3
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
東京書籍 数学Ⅰ，数学A，数学Ⅱ，数学B Advanced		参考書 数研出版 チャート式 基礎からの数学Ⅰ＋A・Ⅱ＋B 問題集 数研出版 メジアン数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B	

科目の目標	数と式、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、整数の性質および図形の性質における考え方や体系に関心をもつとともに、数学の基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	数学的な見方・考え方	数学的な技能	知識・理解
数学的活動を通して、数と式、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、整数の性質、図形の性質、いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数、微分・積分、数列およびベクトルにおける考え方や体系に関心をもつとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	数学的活動を通して、数と式、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、整数の性質、図形の性質、いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数、微分・積分、数列およびベクトルにおける数学的な見方や考え方を身につけ、事象を数学的に捉え、論理的に考察するとともに、過程を振り返り多面的・発展的に考察し、表現できる。	数学的活動を通して、数と式、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、整数の性質、図形の性質、いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数、微分・積分、数列およびベクトルにおいて事象を数学的に考察し、処理する仕方や推論の技能を身につけ、的確に問題を解決できる。	数学的活動を通して、数と式、2次関数、図形と計量、データの分析、場合の数と確率、整数の性質、図形の性質、いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数、微分・積分、数列およびベクトルにおける基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につけている。

「数学ia/iib」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年 福井県立高志高等学校 普通科（内進） 2年（文系）

実施月	章の内容	指導内容 節ごと	配当 時間	具体の評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	数学的な見方考え方	数学的な技能	知識・理解	
7～	複数分野融合および 分野が特定出来ない 問題を扱う総合演習		105	・関連する分野の学習内容に関心をもつとともに、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	・事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，関連分野における数学的な見方や考え方を身に付けている。	・関連する分野において，数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	・関連する分野についての基本的な用語，概念，法則等を体系的に理解している。	前期期末考查 後期中間考查① 後期中間考查② 後期期末考查
			105					

令和3年度 理科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	科目名	対象学年	単位数
地学基礎	普通科（内進生）文系	2年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
啓林館「地学基礎 改訂版」		ビジュアルプラス 地学基礎ノート（実教出版） ベストフィット 地学基礎 NewEdition（実教出版）	

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
地球科学的な事物・現象に関心や探求心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けているか。	地球科学的な事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現しているか。	地球科学的な事物・現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けているか。	地球科学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身につけているか。

「地学基礎」 学習内容と評価の年間計画

福井県立高志高等学校 普通科(内進)文系 2年

実施月	単元名 単元の目標	学習内容	配当時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
4 5	第1部 固体地球とその変動 第1章 地球	1 地球の概観	16	地球の特徴に興味をもち、地球の形と大きさ、地球の内部構造などを調べようとする。	①地球の形の特徴と大きさを、観察や測定の結果などから考えることができる。 ②地球の層構造とその状態について感得することができる。	①地球の断面を縮小してかき、赤道半径と極半径の差や地形の凹凸がどれぐらいの規模にあたるかを調べることができる。【やってみよう】	①地球の形の特徴がわかる。 ②地球の大きさがわかる。	ワーク提出 定期考査
		2 地球の内部構造				②岩石や金属の密度を測定し、地球内部の物質と比較することができる。	③地球内部の層構造とその状態がわかる。	
	第2章 活動する地球	1 プレートと地球の活動		プレートの分布と運動に伴う大地形の形成について興味をもち、プレート運動に関連する火山活動や地震の発生の仕組みについて調べようとする。	①中央海嶺、海溝、大山脈のような大地形がプレートの運動によって形成されることについて考えることができる。	①地震、火山などの地球の活動や、海溝や海嶺などの大地形がプレート境界とどのような対応関係にあるかを調べることができる。【実習2】	①3種類のプレート境界がわかる。 ②プレート運動による大地形の形成ががわかる。	
		2 地震			②地震の発生のしくみをプレートの運動と関連づけて考えることができる。	②衛星画像を使って断層を探すことができる。【やってみよう】	③地震の発生のしくみがわかる。	
		3 火山活動と火成岩の形成			④火山活動をプレートの運動と関連づけて考えることができる。	③火成岩の組織を観察することができる。【やってみよう】	④プレート境界やプレート内部における火山分布や火山活動の特徴がわかる。 ⑤組織と造岩鉱物の組成に基づく火山岩の分類がわかる。	
6 7 9	第2部 移り変わる地球 第1章 地球史の読み方	1 堆積岩とその形成	15	①地表の変化の様子に興味をもち、堆積岩や地層、化石について調べようとする。	①堆積岩がどのように形成されたのかを考えることができる。	①堆積岩を観察し、粒子の種類や大きさを調べることができる。【やってみよう】	①堆積岩の形成過程がわかる。 ②堆積岩の分類がわかる。	
		2 地層と地質構造			②地層が形成されるしくみについて考えることができる。 ③褶曲や断層などの地質構造や不整合から、過去の地殻変動について考えることができる。	②地層の露頭を観察し、記録することができる。【実習3】	③地層が形成されるしくみがわかる。 ④地質構造がわかる。	
		3 地球の歴史の組み立て			②化石を手がかりにして地球の歴史について考えることができる。	③フズリナの化石を観察することができる。【やってみよう】	③鍵層や化石によって地層の対比ができることがわかる。	
	第2章 地球の生命と進化	第1節 先カンブリア時代		①古生物の変遷と地球環境の変化について調べようとする。	①大気と海洋の変化と生命活動との相互のかかわりについて考えることができる。		①地球の誕生から生命の誕生、多細胞生物の出現までの地球の歴史がわかる。	
		第2節 顕生代			②大気の変化と気候の変化、生命活動との相互のかかわりについて考えることができる。		②生物の変遷による地質時代の区分がわかる。	
10 11	第3部 大気と海洋 第1章 大気の構造	第1節 大気圏		①大気圏の層構造に興味をもち、雲や降水のような対流圏の気象について調べようとする	①気温や気圧の鉛直方向の変化から、大気の層構造について考えることができる。	①各地の観測データから気温と高度の関係を調べることができる。【実習4】	①大気の組成と大気圏の層構造がわかる。	ワーク提出 定期考査
		第2節 水と気象 ・水の循環と対流圏の気象について理解させる。			②水の循環について考えることができる。 ③雲の発生について考えることができる。		②上昇気流によって雲が生じることがわかる。	
	第2章 太陽放射と大気・海洋の運動	第1節 地球のエネルギー収支		①地球全体のエネルギー収支に興味をもち、大気の大循環と海水の運動、およびそれらによる地球規模の熱の輸送について調べようとする。	①地球全体のエネルギー収支について考えることができる。		①地球全体のエネルギー収支がつり合っていることがわかる。	

	12		第2節 大気の大循環	15		②緯度によるエネルギー収支の違いについて考えることができる。 ③大気の大循環による熱の輸送について考えることができる。	①日射量の緯度による違いを調べることができる。【実習5】	②緯度によるエネルギー収支の違いがわかる。 ③大気の大循環によって低緯度から高緯度へ熱が運ばれていることがわかる。
		第3章 日本で見られる季節の気象	第3節 海水の循環			④海水の運動による熱の輸送について考えることができる。	②密度差による水の上下運動について調べることができる【やってみよう】	④海洋の層構造がわかる。 ⑤海水の大循環がわかる。
			第1節 冬から春の気象		①日本で見られる季節の気象について興味をもち、調べようとする。	①日本で見られる冬から春の気象と気圧配置の関係について考えることができる。		①日本で見られる冬から春の気象の特徴がわかる。
			第2節 夏から秋の気象 ・日本で見られる夏から秋の気象について理解させる。			②日本で見られる夏から秋の気象と気圧配置の関係について考えることができる。	①気象衛星画像を用いて、雲の動きを調べることができる。【やってみよう】	②日本で見られる夏から秋の気象の特徴がわかる。
	1	第4部 宇宙の構成 第1章 太陽系と太陽	第1節 太陽系の天体	14	①太陽系の姿に興味をもち、太陽系の天体の特徴と太陽系の誕生について調べようとする。	①太陽系の各天体の違いについて考えることができる。		①太陽系の姿と惑星や小天体の特徴がわかる。
			第2節 太陽系の誕生			②太陽系の誕生と惑星の成因について考えることができる。 ③生命を生み出す地球の環境について考えることができる。		②地球型惑星と木星型惑星の成因の違いがわかる。
			第3節 太陽			④太陽の表面の現象について考えることができる。 ⑤太陽の活動とエネルギー源について考えることができる。	①望遠鏡で太陽像を投影し、太陽表面を観察することができる。【やってみよう】 ②太陽光などのスペクトルを観察することができる。【実習6】	③太陽の表面の現象がわかる。 ④太陽のエネルギー源がわかる。
		第2章 恒星としての太陽の進化	第1節 太陽と恒星		①恒星としての太陽に興味をもち、太陽の誕生と進化を調べようとする。	①恒星としての太陽の明るさと色について考えることができる。	①オリオン座の星を観察して、星の明るさの違いを調べることができる。【やってみよう】	①太陽の明るさと色がわかる。
			第2節 太陽の誕生と進化			②恒星としての太陽の誕生と進化について考えることができる。		②緯度によるエネルギー収支の違いがわかる。 ③太陽の誕生と進化の過程がわかる。
		第3章 銀河系と宇宙	第1節 銀河系とまわりの銀河		①銀河について興味をもち、銀河の分布や宇宙の姿について調べようとする。	①銀河系の構造について考えることができる。	①銀河系付近の銀河のデータから、局部銀河群の銀河の分布について調べることができる。【実習7】	①銀河系の構造やほかの銀河の存在がわかる。
			第2節 宇宙の姿			②膨張する宇宙から宇宙の誕生について考えることができる。		②宇宙の誕生と宇宙の構造がわかる。
	3	第5部 自然との共生	第1節 地球環境と人類	5	①自然との共生に興味をもち、自然の恩恵や災害など自然環境と人間生活とのかかわりについて調べようとする。	①地球環境の変化の時間スケールについて考えることができる。		①人類が自然から受けている恩恵がわかる。
			第2節 日本の自然災害と防災			②日本で起こる自然災害と防災への取り組みについて考えることができる。	①ハザードマップを使って、防災に役立つ情報を読み取ることができる。【実習8】	②日本で起こる自然災害がわかる。 ③自然の監視と防災がわかる。
			第3節 人間生活と地球環境の変化			③人間生活が地球規模の環境の変化に及ぼす影響について考えることができる。 ④人間生活が地域的な環境の変化に及ぼす影響について考えることができる。	②オゾンホールの面積のデータを使って、オゾンホールの面積の経年変化を調べることができる。【実習9】	④地球規模の環境の変化がわかる。 ⑤地域的な環境の変化がわかる。

令和3年度 理科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	科目名	対象学年	単位数
演習理科基礎	普通科（内進生）文系	2年	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	日常生活や社会との関連を図りながら，物理，化学，生物の基本的な概念や原理・法則を理解させ，総合的な見方や考え方を養う。観察，実験では探究する能力と態度を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解
日常生活や社会との関連を図りながら，自然の事物・現象について関心をもち，意欲的に探究しようとしている。	自然の事物・現象を物理，化学，生物の枠を超えて総合的に探究し，課題を解決する力を身に付けている。	観察，実験などを行い，自然の事物・現象を科学的な手法を用いて分析する力を身に付けている。	物理，化学，生物の基本的な概念や原理・法則を理解し，総合的な知識を身に付けている。

「演習理科基礎」 学習内容と評価の年間計画

福井県立高志高等学校 普通科

実施月	単元名	単元の目標 学習内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
4	物理	物体の運動 ・物体の運動の測定 【実験】台車と距離センサーを用いて、 $x-t$ ・ $v-t$ ・ $a-t$ のグラフを測定する。 ・力学台車に力を加えるときの運動 【実験】ゴムの本数や伸ばす長さを変えて台車の速度や加速度求める。	2	・物体の運動について興味関心を持つ。 ・力と物体の運動の関係について興味関心を持つ。	・例示されたグラフから、物体の運動を予想できる。 ・物体の運動からどのようなグラフになる架予想できる。 ・ゴムが1本の時と比べて、他の条件の場合、運動がどのようになるか予想考察できる。	・適切な実験操作を行うことができる。 ・役割分担を決めて、実験を正確に行うことができる。	・グラフから距離や速度、加速度を求めることができる。 ・理想的な物体の運動と実験結果を比べて、考察をすることができる。	ワークシート 確認テスト
	生物	生物の特徴 ・生物の多様性と共通性について学ぶ。 ・酵素の基質特異性や最適温度・最適pHについて学ぶ。 ・光合成と呼吸について、それぞれの概要と反応の場を学ぶ。	4	・多種多様な生物にある共通性に関心や探究心をもつ。 ・細胞小器官のはたらきに関心や探究心をもつ。 ・細胞内におけるエネルギーが、大腸菌からヒトに至るまで共通にATPによって蓄えられている事実に関心や探究心をもつ。	・細胞のはたらきの中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、その考えを表現している。 ・エネルギーと代謝の関係の中に問題を見いだし、考えを的確に表現している。 ・光合成と呼吸におけるエネルギー転換の中に問題を見いだし、導き出した考えを的確に表現している。	・原核細胞と真核細胞の観察を通して、顕微鏡の使い方の基本操作を習得するとともに、細胞の構造上の違いを科学的に探究する技能を身に付けている。 ・光のエネルギーを用いて有機物がつくられることの確認を通して、基本操作を習得するとともに、観察過程や結果を的確に記録、整理し、光合成によってデンプンなどの有機物がつくられる現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	・生物の多様性の関係について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・代謝について基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・細胞小器官の構造とはたらきについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・原核細胞と真核細胞の構造上の共通点・相違点について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	ワークシート 確認テスト
6	化学	化学結合と化学反応式 ・それぞれの化学結合でできた代表的な物質について理解する。 ・多くの化学変化は化学反応式であらわされることを理解させ、化学反応式をもとに量的な関係をつかむ。 ・化学結合や化学反応に対する総合的な見方や考え方を養うとともに、観察、実験では探究する能力と態度を育てる。	3	・それぞれの化学結合について、特徴を理解し、その結晶の差異について興味や関心を高める。 ・身近な物質が、それぞれの結晶のからできていることに気づく。 ・化学反応の表し方について興味関心を高め、探究心をもつ。 ・基本法則が発見された時代背景に興味をもつ。	・それぞれの化学結合でできた結晶について、その性質を説明し、それがどのような理由によるものが推論することができる。 ・身近な物質が、それぞれの結晶の性質を踏まえて利用されていることについて気づく。 ・正しい化学反応式が表せる。 ・化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積の変化でとらえることができる。 ・基本法則についてモデルを用いて説明することができる。	・それぞれの化学結合でできた結晶について、その性質を調べることができる。 ・身近な気体の性質や利用用途などについて、科学的に探究する技能を身に付けている。 ・化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積の変化でとらえることができる。	・それぞれの結合から成る物質の特徴と性質を理解している。 ・身近な物質がもつ性質やその利用例などを理解している。 ・化学反応における、物質量、粒子の個数、質量、気体の体積などの量的関係を、化学反応式から読み取ることができるだけでなく、過不足ある反応などを含め総合的な見方や考え方ができる。 ・質量保存の法則、定比例の法則、ドルトンの原子説、気体反応の法則、アボガドロの分子説を理解している。	ワークシート 確認テスト
	物理	波動 弦・気柱 ・音の伝わり方・音の3要素・うなり 【実験】波の性質音波の性質などについて理解する。 ・弦および気柱の振動条件について学び、定常波の発生や共鳴、共振について理解する。 【実験】弦や気柱の長さや張力を変えて固有振動ができる振動数を調べる。	2	・弦楽器や管楽器での音の発生の原理について関心を持ち、意欲的に探求しようとする。 ・共鳴が起こる仕組みについて興味関心を持つ	・原理から固有振動ができる条件を予測できる。 ・弦や気柱に生じる定常波の固有振動数を表す式について式の運用が正しくできる。	・装置の操作を正しく行うことができる。 ・弦や気柱の共鳴実験を観察し、的確に整理している。	・音が疎密波であることについて理解し、知識を身に付けている。 弦の振動と気柱の振動などを通して、共鳴・共振のような現象が起こる原理を理解し、知識を身に付けている。	ワークシート 確認テスト

「演習理科基礎」 学習内容と評価の年間計画

実施月	単元名	単元の目標 学習内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
7	生物	遺伝子とそのはたらき ・遺伝子の本体としてのDNAとその発見の歴史について学ぶ。 ・分裂する細胞としない細胞にはどのような違いがあるか細胞周期をもとにして理解する。 ・セントラルドグマを理解する。 ・DNAとRNAをそれぞれ構成するデオキシリボースとリボースの構造について知る。 ・DNAの転写とハエなどの発生過程でみられるパフの関係性を理解する。	3	・遺伝情報としてのDNAの構造とはたらきに関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとする。 ・遺伝子・DNA・ゲノムの関係性に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとする。 ・細胞周期に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとする。 ・遺伝情報の流れに関心や探究心をもち、論理的に理解しようとする。	・ヌクレオチドの構造と塩基の相補性の関係について、的確に表現している。 ・遺伝情報とゲノムの関係性の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 ・体細胞による遺伝情報の複製や分配の中に問題を見いだし、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。 ・セントラルドグマの中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察する。	・身のまわりの材料からのDNAの抽出実験を通して、抽出やろ過などの基本操作を習得するとともに、実験の過程や結果を的確に記録、整理し、この方法でDNAが抽出できる原理を科学的に探究する技能を身に付けている。 ・タマネギやニンニクの根における体細胞分裂の観察実験を通して、押しつぶし法などの基本操作を習得するとともに、実験の過程や結果を的確に記録、整理し、染色体の変化について科学的に探究する技能を身に付けている。	・遺伝物質であるDNAの解明について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・遺伝子について基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・塩基の相補性を利用したDNAの複製について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 ・セントラルドグマについて基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	ワークシート 確認テスト
9	化学	酸・塩基と中和反応・塩 ・中和反応の定義と表し方について理解する。 ・塩の生成と種類、性質について理解する。 ・中和の量的関係とpHの変化について理解する。 ・中和反応に対する総合的な見方や考え方を養うとともに、観察、実験では探究する能力と態度を育てる。	2	・酸・塩基について興味や関心を高める。 ・中和反応は本質的にはH ⁺ とOH ⁻ の反応であることに気づく。 ・同一の酸と塩基から生成する塩でも、複数の種類の塩が生じることがあることに気づく。 ・市販の食酢の酢酸濃度の求め方に関心をもつだけでなく、二段階電離などの発展的な酸について興味関心を高め、探究心をもち、	・酸・塩基の例からその共通性について考察し、他の物質と比較する。また、その量的な関係について考察する。 ・酸・塩基の価数は中和する際の量的関係に重要な要素を占めることに気づく。 ・塩の水溶液の酸性・塩基性が判断できる。 ・測定結果をもとに、滴定曲線を表すことができる。	・H ⁺ の授受が実際に行われている反応を確かめてみるができる。 ・中和滴定において、メスフラスコ、ビュレット、ホールピペットなどの実験器具の取り扱いができると同時に、酸・塩基の量的関係から未知の濃度を実験で求める技能を身に付けている。 ・塩の水溶液をつくり、pHメーターなどによりpHを測定することができる。	・酸・塩基の性質と中和反応の意味、量的な関係を理解している。 ・中和の量的関係を数値計算により求めるだけにとどまらず、滴定中のイオン種の変化などを含め総合的な見方や考え方ができる。 ・滴定曲線におけるpH変化、中和点、使用できる指示薬について理解している。 ・酸性塩、塩基性塩、正塩などの分類があることを理解している。 ・実験器具の使い方を理解している。	ワークシート 確認テスト
10 ～ 3	科目別演習	物理・化学・生物から1科目を選択し、問題演習や実験などに取り組み、理解を深める。	19	日常生活や社会との関連を図りながら、自然の事物・現象について関心をもち、意欲的に探究しようとしている。	自然の事物・現象を物理、化学、生物の枠を超えて総合的に探究し、課題を解決する力を身に付けている。	観察、実験などを行い、自然の事物・現象を科学的な手法を用いて分析する力を身に付けている。	物理、化学、生物の基本的な概念や原理・法則を理解し、総合的な知識を身に付けている。	ワークシート 確認テスト

令和3年度 保健体育科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
体育	普通科	2年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
現代高等保健体育（大修館）		ステップアップ高校スポーツ（大修館）	

科目の目標	運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、自己の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、公正、協力、責任などの態度を身に付けるとともに、健康・安全に留意して自ら運動をしようとする。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫している。また、自己や仲間の状況に応じて体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫している。	運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したりするための各領域の運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	選択した運動の技術（技）の名称や行い方、体力の高め方。課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法、スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴、運動やスポーツの効果的な学習の仕方及び豊かなスポーツライフの設計の仕方を理解している。

「体 育」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年 高志高等学校 普通科 第2学年

実施月	領域記号	領域の時数	領域名 領域の内容 【学習指導要領の内容】	主な学習活動	評価の観点および評価規準				評価方法	その他 留意点等
					関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解		
1 2 3	A	9	「A 体づくり運動」 (1) 次の運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て、実生活に役立てることができるようにする。 ア 体ほぐしの運動では、心と体は互いに影響し変化することに気付き、体の状態に応じて体の調子を整え、仲間と積極的に交流するための手軽な運動や律動的な運動を行うこと。 イ 体力を高める運動では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むこと。 (2) 体づくり運動に主体的に取り組むと体力などの違いに配慮しようとする こと、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	・サーキットトレーニング ・ウェイトトレーニング ・シャトルラン	体力を高める運動に対する関心や意欲を持つて互いに協力して運動しようとする。また、健康や安全に留意して運動をしようとする。	自分の体力に応じて、必要な運動を選択し、体力を高めることができる。	/	体力を高めるための運動の必要性や運動の行い方、心身への効果を理解する。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・仲間との協力状態 ・チェックテスト	○体育委員は以下の仕事を行う。 ・授業の1時間前までに担当教員と連絡を取り、内容をクラスの生徒に伝える。 ①活動場所 ②必要な用具の準備 ③貴重品の管理 ・授業時に行くこと ①整理 ②挨拶 ③準備体操（補強運動の指示） ○服装について 学校指定の体操服を着用すること (原則) [冬季服装期間] 4～5月前期中間考査①前 10月～3月 [夏季服装期間] 5月前期中間考査①後 ～10月まで ※気温により期間が変わることがある。 ○更衣場所 (原則) 男子・・・教室 女子・・・第1体育館及び第2体育館女子更衣室
無し	B	0	「B 器械運動」 (1) 次の運動について、技がよりよくできる楽しさや喜びを味わい、自己に適した技を高めて、演技できるようにする。 ア マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展系を滑らかに行うこと、それらを構成し演技すること。 イ 鉄棒運動では、支持系や懸垂系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を滑らかに行うこと、それらを構成し演技すること。 ウ 平均台運動では、体操系やバランス系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を滑らかに行うこと、それらを構成し演技すること。 エ 跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技、発展技を滑らかに行うこと。 (2) 器械運動に主体的に取り組むとともに、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 技の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、発表の仕方などを理解し、自己の仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。							
4 5	C	8	「C 陸上競技」 (1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ア 競争 短距離走・リレーでは、中間走の高いスピードを維持して速く走ること、長距離走では、ペースの変化に対応するなどして走ること、ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低くリズムカルに越すこと。 イ 跳躍 走り幅跳びでは、スピードに乗った助走と力強い踏み切りから着地までの動きをなめらかにして跳ぶこと、走り高跳びでは、スピードのあるリズムカルな助走から力強く踏み切り、滑らかな空間動作で跳ぶこと、三段跳びでは、短い助走からリズムカルに連続して跳ぶこと。 ウ 投てき 砲丸投げでは立ち投げなどから包含を突き出して投げること、やり投げでは、短い助走からやりを前方にまっすぐ投げること。 (2) 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする こと、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3) 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己の仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	○長距離走 ・ペース走 ・インターバルトレーニング ○走幅跳 ・跳躍トレーニング	陸上競技の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとする。また、互いに協力して練習や競技をしようとするとともに、勝敗に対して公正な態度をとろうとする。また、練習場の安全や体の調子など、健康・安全に留意して練習や競技をしようとする。	自分の能力に適した課題を持ち、その解決を目指して、練習の仕方や競技の仕方を工夫している。	陸上競技の選択した種目の特性に応じた技能を身につけるとともに、その技能を高め、競技したり記録を高めたりすることができる。	陸上競技の選択した種目の特性や学び方、技能の構造、合理的な練習の仕方などを理解するとともに、競技や審判の方法を理解し、知識を身につけている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）	

無し	D	0	「D 水泳」 (1)次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、各種目特有の技能を高めることができるようにする。 ア クロールでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 イ 平泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ウ 背泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 エ バタフライでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 オ 複数の泳法で長く泳ぐこと又はリレーをすること。 (2)水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようということ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうということ、合意形成に貢献しようということなどや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全を確保することができるようにする。 (3)技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、自己の仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。						
5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	E	31	「E 球技」 (1)次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ア ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。 イ ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作りだすなどの攻防を展開する。 ウ ベースボール型では、状況に応じたバット操作手と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開する。 (2)球技に主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようということ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうということ、合意形成に貢献しようということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3)技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解し、チームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	○サッカー ・基本的技能 キック パス トラップ ドリブル ボールコントロール ・グループ戦術 2対1 2対2 ポジショニング ・簡易ゲーム ○バスケットボール ・基本的技能 パス ドリブル シュート ・オフェンス 2対1 3対2 ・ディフェンス マンツーマン ・簡易ゲーム ○バレーボール ・基本的技能 パス サーブ レシーブ トス アタック ・簡易ゲーム ○テニス ・基本的技能 ストローク ボレー サーブ ・簡易ゲーム ○バドミントン ・基本的技能 ストローク サービス ・簡易ゲーム ○卓球 ・基本的技能 ツッツキ ドライブ バックショート サービス ・簡易ゲーム ○ソフトボール ・基本的技能 打撃 守備 投球 ・簡易ゲーム	球技の特性に関心をもち、楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組もうとする。また、チームにおける自分の役割を自覚して、互いに協力して練習やゲームをしようとする。また、勝敗に対して公正な態度をとろうとする。さらに、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームをしようとする。	チームの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指して、ルールを工夫したり作戦を立てたりして練習の仕方やゲームの仕方を工夫している。	選択した球技種目の特性に応じた技能を身につけ、作戦を生かした攻防に展開してゲームができる。	選択した球技種目の特性や学び方、技術の構造、合理的な練習の仕方を理解するとともに、競技や審判の方法を理解し、知識を身につけている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）
5 6 7	F	6	「F 武道」 (1)次の運動について、技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、得意技を用いた攻防が展開できるようにする。 ア 柔道では、相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技や連絡技・変化技を用いて、素早く相手を崩して投げたり、抑えたり返したりするなどの攻防を展開する。 イ 剣道では、相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技を用いて、相手の構えを崩し、素早くしかけたり応じたりするなどの攻防を展開する。 (2)武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようということ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3)伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解し、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	○柔道 ・礼法練習 ・基本動作練習 ・受け身、投げ技、固め技練習 ・連続技練習 ・試合形式練習 ○剣道 ・礼法練習 ・基本素振り ・体さばき ・防具着脱 ・基本打突 ・試合形式練習	武道の特性に関心をもち、楽しさや喜びが味わえるように進んで取り組もうとする。また、伝統的な行動の仕方に留意して、互いに相手を尊重し、練習や試合をしようとするとともに、勝敗に対して公正な態度をとり、禁じ技を用いないなど安全に留意して練習や試合をしようとする。	自分の能力に適した技を習得するための練習の仕方や試合の仕方を工夫している。	武道の選択した種目の特性に応じた技能を身につけ、相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができる。	武道の選択した種目の特性に応じた技能を身につけ、相手の動きに対応した攻防を展開して練習や試合ができる。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）
5 6 7	G	6	「G ダンス」 (1)次の運動について、感じを込めて踊ったり、仲間と自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、それぞれ特有の表現や踊りを高めて交流や発表ができるようにする。 ア 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や群で対極の動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりして踊ること。 イ フォークダンスでは、踊り方の特徴を強調して、音楽に合わせて多様なステップや動きと組み方で仲間と対応して踊る。 ウ 現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して前進で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応して踊る。 (2)ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうということ、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうということ、合意形成に貢献しようということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 (3)ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、交流や発表の仕方などを理解し、グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	・ダンスウォーミングアップ ・リズムダンス ・ペアダンス ・現代的なリズムのダンス ・即興表現 ・創作	ダンスの特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとする。また、互いのよさを認め合い、協力して練習したり発表したりしようとする。	グループの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指して、練習の仕方や発表の仕方を工夫している。	自分の感じ方や工夫を率直に表現とし、感じを込めて踊ったり、みんなでかかわりをもって踊ったりすることができる。	ダンスの特性や学び方、歴史を理解するとともに、発表の仕方や鑑賞の仕方を理解し、知識を身につけている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・演技構成表 ・演技発表内容 ・仲間との協力状況
7 9	H	6	「H 体育理論」 (2)運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。 ア 運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発揮されるようになること。また、技術の種類に応じた学習の仕方があること。 イ 運動やスポーツの技能の上達過程にはいくつかの段階があり、その学習の段階に応じた練習方法や運動観察の方法、課題の設定方法などがあること。 ウ 運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待するせいかに応じた技能や体力の高め方があること。 エ 運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められること。	クラス単位の講義形式 プリント学習 視聴覚教材の使用 ディスカッション グループ学習 調べ学習	運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について関心をもち、運動の実践や生活に生かそうと進んで学習に取り組もうとする。	運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について、自分に適した運動の実践的な課題や生活に結びつく課題を設定し、その解決を目指して活動の仕方を考え、工夫している。		運動の特性と学び方、体ほぐし・体力の意義と運動の効果について理解するとともに、運動の生活の中での生かし方や、運動の心身にわたる効果を理解し、知識を身につけている。	・出席状況 ・授業への取り組み態度 ・提出物 ・筆記試験

「体 育」 指導と評価の年間計画								
(年間指導時数 70時間)			学校名・学科・学年 高志高等学校 普通科 第2学年					
単元名	単元の目標	主な学習活動	評価の観点および評価規準				評価方法	その他 留意点等
			関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解		
体づくり	自己のねらいに応じ て、健康の保持増進や 調和のとれた体力の向 上を図るための継続的 な運動の計画を立て取 り組むことができるよ うにする。	・サーキットトレーニング ・ウエイトトレーニング ・大縄跳び	・体づくり運動の学習に主 体的に取り組もうとしてい る。 ・実生活に役立てることが できるよう、体力などの違 いに配慮しようとしてい る。 ・役割を積極的に引き受け 自己の責任を果たそうとし ている。 ・合意形成に貢献しようと し、互いに助け合い高め合 おうとしている。 ・健康・安全を確保してい る。	・体ほぐしのねらいや体力 を高める運動の考え方を踏 まえて、継続しやすい体つ くり運動の計画を立ててい る。 ・自己や仲間のねらいや体 力の程度に応じて、適切な 運動の種類、強度、量、頻 度を選んでいる。 ・仲間と学習する場面で、 自己や仲間の危険を予測し 回避するための活動の仕方 を選んでいる。		・体づくり運動の行い方につ いて理解している。 ・体力の構成要素と、それ らが健康に生活するための 体力と運動を行うための体 力に密接に関係しているこ とについて理解している。	・出席状況 ・授業に取 組む態度 ・仲間との協 力状況 ・チェックテ スト	○体育委員は以下の 仕事を行う。 ・授業の1時間前まで に担当教員と連絡を取 り、内容をクラス の生徒に伝える。 ①活動場所 ②必要な用具の準備 ③貴重品の管理 ・授業時に行うこと ①整列 ②挨拶 ③準備体操（補強運 動の指示） ○服装について 学校指定の体操服を 着用すること （原則） [冬季服装期間] 4～5月前期中間考査 ①前 10月～3月 [夏季服装期間] 5月前期中間考査①後 ～10月まで ※気温により期間が 変わることがある。 ○更衣場所 （原則） 男子・・・教室 女子・・・第1体育 館及び第2体育館女 子更衣室
陸上	記録の向上や競争の楽 しさや喜びを味わいな がら、ペースの変化に 対応するなどして走る ことができるようにす る。	長距離走 ・ペース走 ・インターバルトレーニング 走幅跳 ・跳躍トレーニング	・陸上競技の学習に主体的 に取り組もうとしている。 ・勝敗などを冷静に受け止 め、ルールやマナーを大切 にしようとしている。 ・役割を積極的に引き受け 事故の責任を果たそうとし ている。 ・合意形成に貢献しようと している。 ・互いに助け合い高め合お うとしている。 ・健康・安全を確保してい る。	・自己や仲間の挑戦する課 題を設定している。 ・課題解決の過程を踏まえ て、自己や仲間の課題を見 直している。 ・グループで活動する場面 で、状況に応じた自己や仲 間の役割を見つけている。 ・練習や競技の場面で、自 己や仲間の危険を回避する ための活動の仕方を選ん でいる。 ・陸上競技を生涯にわたっ て楽しむための自己に適 した関わり方を見つけてい る。	ペースの変化に対応するな どして走ることができる。	陸上競技の特性を理解し、 速く走るために必要な要素 や技術を身につけている。	・出席状況 ・授業に取 組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト （口答）	
ダンス	現代的なリズムの特徴 を強調して全身で自由 に踊ったり、変化とま とまりのある動きを工 夫して発表し合ったり することができるよう にする。	・ダンスウォーミングアップ ・リズムダンス ・ペアダンス ・現代的なリズムのダンス ・即興表現 ・創作	・ダンスの特性に関心を持 ち、楽しさや喜びを味わえ るよう互いに協力して進ん で練習や発表交流会に取り 組もうとしている。 ・お互いのよさを認め合 い、協力して練習や発表を しようとする。	・自己の能力やグループの 特性に応じた技能を習得す るための課題を設定し、そ の解決を目指して、練習の 仕方や作品の構成、発表会 の仕方を工夫している。	リズムの特徴を強調して全 身で自由に踊ったり、変化 とまとまりをつけて仲間 と対応したりして踊るため の動きができる。	ダンスの特性やリズムの取 り方・動き方を理解すると ともに、その特徴を生かし た作品の構成・動きのまと め方を知っている。	・出席状況 ・授業に取 組む態度 ・演技構成表 ・演技発表内容 ・仲間との協 力状況	
柔道	相手の多様な動きに応 じた基本動作から、得 意技や連絡技・変化技 を用いて、素早く相手 を崩して投げたり、抑 えたり、返したりする などの攻防が展開する ことができるようにす る。	・礼法練習 ・基本動作練習 ・受け身、投げ技、固め技練習 ・連続技練習 ・試合形式練習	・柔道の学習に主体的に取 り組もうとしている。 ・相手を尊重し、礼法など の伝統的な行動の仕方を大 切にしようとしている。 ・互いに助け合い高め合お うとしている。 ・健康・安全を確保してい る。	・自己の能力に応じた技を 習得するための課題を設定 し、その解決を目指して、 練習の仕方や試合の仕方を 工夫している。 ・練習や試合の場面で、事 故や仲間の危険を回避する ための活動の仕方を選ん でいる。	素早く相手を崩して投げた り、抑えたり、返したりす るなどの攻防を展開するた めの相手の多様な動きに応 じた基本動作から、得意技 や連絡技・変化技のいずれ かができる。	・柔道の特性や学び方、技 術の系統性・構造、合理的 な練習の仕方を理解する。 ・試合や審判の方法を理解 し、知識を身につけてい る。	・出席状況 ・授業に取 組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト （口答）	

剣道	相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技を用いて、相手の構えを崩し、素早くしかけたり応じたりするなどの攻防が展開することができるようにする。	・礼法練習 ・基本素振り ・体さばき ・防具着脱 ・基本打突 ・試合形式練習	・剣道の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとしている。 ・互いに助け合い高め合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。	・自己の能力に応じた技を習得するための課題を設定し、その解決を目指して、練習の仕方や試合の仕方を工夫している。 ・練習や試合の場面で、事故や仲間の危険を回避するための活動の仕方を選んでいる。	相手の構えを崩し、素早くしかけたり応じたりするなどの攻防を展開するための相手の多様な動きに応じた基本動作から、得意技ができる。	・剣道の特性や学び方、技術の系統性・構造、合理的な練習の仕方を理解する。 ・試合や審判の方法を理解し、知識を身につけている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）
サッカー	状況に応じたボール操作や仲間との連携した動きから空間へ侵入するなど、攻防が展開してゲームができるようにする。	・基本的技能 キック パス トラップ ドリブル ボールコントロール ・グループ戦術 2対1 2対2 ポジショニング ・簡易ゲーム	・サッカーの特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとしている。 ・練習やゲームで、チームにおける自己の役割を果たし、協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。	・グループや自己の課題を解決するための適切な練習や方法などを選んだり、見つけたりしている。 ・健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。 ・作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見つけている。	空間（スペース）への侵入などから攻防を展開するための状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きができる。	サッカーの特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方、ルール、審判の仕方を理解し、知識を身につけている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）
バスケットボール	状況に応じたボール操作や仲間との連携した動きから空間へ侵入するなど、攻防が展開してゲームができるようにする。	・基本的技能 パス ドリブル シュート ・オフェンス 2対1 3対2 ・ディフェンス マンツーマン ・簡易ゲーム	・バスケットボールの特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとしている。 ・練習やゲームで、チームにおける自己の役割を果たし、協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。	・グループや自己の課題を解決するための適切な練習や方法などを選んだり、見つけたりしている。 ・健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。 ・作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見つけている。	空間（スペース）への侵入などから攻防を展開するための状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きができる。	バスケットボールの特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方、ルール、審判の仕方を理解し、知識を身につけている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）
バレーボール	チームの課題や自己の能力に応じてバレーボールの技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。	・基本的技能 パス（個人・対人） サーブ レシーブ トス アタック ・簡易ゲーム	・バレーボールの特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとしている。 ・練習やゲームで、チームにおける自己の役割を果たし、協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。	・グループや自己の課題を解決するための適切な練習や方法などを選んだり、見つけたりしている。 ・健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。 ・作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見つけている。	攻防を展開するための状況に応じたボール操作や、連携した動きができる。	バレーボールの特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方、ルール、審判の仕方を理解し、知識を身につけている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）
テニス	ペアの課題や自己の能力に応じてテニスの技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。	・基本的技能 ストローク フォアハンド バックハンド ボレー サーブ ・簡易ゲーム	・テニスの特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとしている。 ・練習やゲームで、ペアにおける自己の役割を果たし、協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。	・ペアや自己の課題を解決するための適切な練習や方法などを選んだり、見つけたりしている。 ・健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。 ・作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見つけている。	自己の能力やペアの課題に応じて、テニスの特性に応じた技能を身につけ、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	テニスの特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方、ルール、審判の仕方を理解し、知識を身につけている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）

バドミント ン	ペアの課題や自己の能力に応じてバドミントンの技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。	・基本的技能 ストローク オーバーヘッド サイドアーム アンダーハンド サービス ロングサービス ショートサービス ・簡易ゲーム	・バドミントンの特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとしている。 ・練習やゲームで、ペアにおける自己の役割を果たし、協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。	・ペアや自己の課題を解決するための適切な練習や方法などを選んだり、見つけたりしている。 ・健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。 ・作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見つけている。	自己の能力やペアの課題に応じて、バドミントンの特性に応じた技能を身につけ、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	バドミントンの特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方、ルール、審判の仕方を理解し、知識を身につけている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）
卓球	ペアの課題や自己の能力に応じて卓球の技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。	・基本的技能 ツッツキ ドライブ スマッシュ バックショート サービス ・簡易ゲーム	・卓球の特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとしている。 ・練習やゲームで、ペアにおける自己の役割を果たし、協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。	・ペアや自己の課題を解決するための適切な練習や方法などを選んだり、見つけたりしている。 ・健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。 ・作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見つけている。	自己の能力やペアの課題に応じて、卓球の特性に応じた技能を身につけ、ゲームができる。	卓球の特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方、ルール、審判の仕方を理解し、知識を身につけている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）
ソフトボ ール	チームの課題や自己の能力に応じてソフトボールの技能を高め、作戦を生かした攻防を展開してゲームができるようにする。	・基本的技能 打撃 バットの握り方 構え方 素振り フリー打撃 守備 ボールの握り方 投げ方 捕球姿勢 送球連取 ノック 投球練習 ・簡易ゲーム	・ソフトボールの特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとしている。 ・練習やゲームで、チームにおける自己の役割を果たし、協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。	・グループや自己の課題を解決するための適切な練習や方法などを選んだり、見つけたりしている。 ・健康や安全を確保・維持するために、自己や仲間の体調に応じた活動の仕方を選んでいる。 ・作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見つけている。	攻防を展開するための状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などの動きができる。	ソフトボールの特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方、ルール、審判の仕方を理解し、知識を身につけている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・実技テスト ・ルールテスト（口答）
体育理論	運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。	クラス単位の講義形式 プリント学習 視聴覚教材の使用 ディスカッション グループ学習 調べ学習	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、学習に主体的に取り組もうとしている。	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方や豊かなスポーツライフの設計の仕方について、比較したり、分析したり、まとめたりするなどして、判断し説明している。		・運動やスポーツの技術と技能について、その上達過程や体力の関係について、また運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、理解したことを言ったり書き出したりしている。	・出席状況 ・授業に取り組む態度 ・筆記試験

令和3年度 保健体育科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
保健	普通科	2年	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
現代高等保健体育（大修館）		現代保健ノート（大修館）	

科目の目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。
-------	---

評価の観点および評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
	生涯を通じる健康について、生涯の各段階における健康課題への自らの適切な対応及び我が国の保健・医療制度や機関の適切な活用が重要であることに関心をもち、学習活動に取り組もうとしている。 社会生活と健康について、社会生活における健康の保持増進には、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康に関する活動や対策が重要であることに関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	生涯を通じる健康について、生涯の各段階における健康課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。 社会生活と健康について、社会生活における健康の保持増進に関わる課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	生涯を通じる健康について、生涯の各段階における健康課題の解決に役立つ自らの適切な対応及び我が国の保健・医療制度や機関の適切な活用のための基礎的な事項を理解している。 社会生活と健康について、社会生活における健康の保持増進に関する課題の解決に役立つ環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康に関する活動や対策についての基礎的な事項を理解している。

「保 健」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年

高志高等学校 普通科 第2学年

実施月	単元の時数	単元名	単元の目標	主な学習活動	評価の観点および評価規準			評価方法	その他留意点等	
					関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解			
4・5・6	11	「(2)生涯を通じる健康」	生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。	ア 生涯の各段階における健康 生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかわっていること。 生涯の各段階における健康課題には様々なものがあることを理解し、将来の自分あるいは家族に対して適切に対処できるようにする。また、それらの健康課題について他の生徒と意見交換を行い、多様な考えに触れる。	1. 思春期と健康 2. 性意識と性行動の選択 3. 結婚生活と健康 4. 妊娠・出産と健康 5. 家族計画と人工妊娠中絶 6. 加齢と健康 7. 高齢者のための社会的取り組み 生涯の各段階における健康課題には様々なものがあることを理解し、将来の自分あるいは家族に対して適切に対処できるようにする。また、それらの健康課題について他の生徒と意見交換を行い、多様な考えに触れる。	・思春期と健康、結婚生活と健康について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・加齢と健康について、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・思春期と健康、結婚生活と健康について、学習したことを、個人及び社会生活や事例などと比較したり、分類したり、分析したりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。 ・加齢と健康について、資料等で調べたことを基に課題を見つけたり、整理したりするなどして、それらを説明している。	・生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。	学習活動への取り組みの様子 定期考査 ワークシート 提出物	積極的に生徒の意見交換の場を設けたり、DVDを視聴したりして、生徒の興味・関心を刺激し、生活に役立つ知識の習得や実践力を養うことができるようにする。
7・9	5		イ 保健・医療制度及び地域の保健・医療機関 生涯を通じて健康の保持増進をするには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であること。また、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること。疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であること。	8. 保険制度とその活用 9. 医療制度とその活用 10. 医薬品と健康 我が国の保健・医療制度を理解し、広報誌や保健センターのパンフレットなど、自分の生活圏の保健行政や保健サービスについて知り、今後の生活の中で有効に活用できるようにする。また、医薬品の使用について、意見交換を行う。	・我が国の保健・医療制度について、関連する資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・地域の保健・医療機関の活用について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・我が国の保健・医療制度について、資料等で調べたことを基に、課題を見つけたり、解決の方法を整理したりするなどして、それらを説明している。 ・地域の保健・医療機関の活用について、学習したことを、個人及び社会生活と比較したり、分析したり、計画を立てたりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。	・生涯を通じて健康の保持増進をするには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であること、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があること、疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。	学習活動への取り組みの様子 定期考査 ワークシート 提出物	積極的に生徒の意見交換の場を設けたり、DVDを視聴したりして、生徒の興味・関心を刺激し、生活に役立つ知識の習得や実践力を養うことができるようにする。	
9	2		ウ 様々な保健活動や対策 我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や対策などが行われていること。	11. さまざまな保健活動や対策 健康づくりのための様々な活動、民間機関や国際機関などの保健活動について学び、国によって健康課題が異なることや、ヘルスプロモーションの考え方にもとづいた活動や対策について理解を深める。	・様々な保健活動や対策について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換をするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・様々な保健活動や対策について、学習したことを、個人及び社会生活と比較するなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。	我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や対策などが行われていることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。	学習活動への取り組みの様子 定期考査 ワークシート 提出物	積極的に生徒の意見交換の場を設けたり、DVDを視聴したりして、生徒の興味・関心を刺激し、生活に役立つ知識の習得や実践力を養うことができるようにする。	
10・11	7	「(3)社会生活と健康」	社会生活における健康の保持増進には、環境や食品、労働などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康にかかわる活動や対策が重要であることについて理解できるようにする。	ア 環境と健康 人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。	1. 大気汚染と健康 2. 水質汚濁・土壌汚染と健康 3. 健康被害の防止と環境対策 環境汚染の原因とその健康影響、それらを防ぐための取り組み、産業廃棄物やゴミ・し尿の処理について理解する。また、地球規模の環境問題と健康被害について学習し、個人や地域でできることを考えたり、実践できることを話し合う。	・環境の汚染と健康について、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・環境と健康に関わる対策について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・環境の汚染と健康について、資料等で調べたことを基に、課題を見つけたり、解決の方法を整理したりするなどして、それらを説明している。 ・環境と健康にかかわる対策について、学習したことを、個人及び社会生活と比較したり、分類したり、分析したり計画を立てたりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。	・人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあること、それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。	学習活動への取り組みの様子 定期考査 ワークシート 提出物	積極的に生徒の意見交換の場を設けたり、DVDを視聴したりして、生徒の興味・関心を刺激し、生活に役立つ知識の習得や実践力を養うことができるようにする。
12・1	5		イ 環境と食品の保健 環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され、それに基づき行われていること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われている。	4. 環境衛生活動のしくみと働き 5. 食品衛生活動のしくみと働き 6. 食品と環境の保健と私たち 食品の安全性の確保、行政や生産・製造者による衛生管理、食品表示、食品の安全性の情報、食中毒の防止対策、環境の保健について、DVDを視聴するなどして理解を深める。	・環境保健に関わる活動、食品保健に関わる活動について、資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・健康の保持増進のための環境と食品の保健について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・環境保健に関わる活動、食品保健に関わる活動について、資料等で調べたことを基に、課題を見つけたり、解決の方法を整理したりするなどして、それらを説明している。 ・健康の保持増進のための環境と食品の保健について、学習したことを、個人及び社会生活や事例と比較したり、関連付けたりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。	・環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定され、それに基づき行われていること、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するよう基準が設定され、それに基づき行われていることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。	学習活動への取り組みの様子 定期考査 ワークシート 提出物	積極的に生徒の意見交換の場を設けたり、DVDを視聴したりして、生徒の興味・関心を刺激し、生活に役立つ知識の習得や実践力を養うことができるようにする。	
2・3	5		ウ 労働と健康 労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化に起因する生涯や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があること。	7. 働くことと健康 8. 労働災害と健康 9. 健康的な職業生活 働くことの意義や健康とのかかわり、働き方と健康問題の変化、労働災害及び労働災害予防のための安全管理と健康管理、職場が行う健康増進対策、余暇の意義と活用の仕方について学習し、働く人自身の安全に対する積極的な姿勢とともに職場全体の配慮や体制づくりが必要であることや、仕事と余暇のバランスが大切であることを理解する。	・労働災害と健康について、関連する資料を探したり、見たり、読んだりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。 ・働く人の健康の保持増進について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・労働災害と健康について、資料等で調べたことを基に、課題を見つけたり、解決の方法を整理したりするなどして、それらを説明している。 ・働く人の健康の保持増進について、学習したことを、個人及び社会生活や事例と比較したり、分類したり、分析したりするなどしている。また、筋道を立ててそれらを説明している。	・労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化に起因する障害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることについて、理解したことを発言したり、記述したりしている。	学習活動への取り組みの様子 定期考査 ワークシート 提出物	積極的に生徒の意見交換の場を設けたり、DVDを視聴したりして、生徒の興味・関心を刺激し、生活に役立つ知識の習得や実践力を養うことができるようにする。	

令和3年度 英語科 指導と評価の年間計画

学校名

福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
コミュニケーション英語Ⅱ	普通科文系	2年	4
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
Crown English Communication Ⅱ（三省堂）		Crown English Communication Ⅱ WORKBOOK ADVANCED（三省堂）	

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。		英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

「コミュニケーション英語Ⅱ」指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
4	13	Lesson 1 Around the World on a Bike	劇作家・平田オリザが、16歳のときに決意したアメリカ・ヨーロッパへの自転車一人旅について	ア 若いときに経験した旅を通して、実際に平田オリザが自分の目を通してなにを感じ取ったかを読み取る。 イ 若いときの冒険とはなにかを考える。 ウ 若いときにおこなう冒険旅行について、自分の考えをまとめて発表する。 エ 関係代名詞の非制限用法、不定詞・動名詞の意味上の主語に習熟する。	①若いときに行う冒険旅行について、積極的に話し合ったり、意見の交換をしている。	①若い時にする冒険について自分の考えをわかりやすく話すことができる。 ②自分の経験をもとに、訪れた先での経験について述べるができる。	①筆者が自分で決めたことに向かって、人生を切り開いていく姿を正しく読み取ることができる。 ②筆者が高校時代に実行した世界自転車旅行で、訪れた国々の人たちを通して経験できたことを正しく読み取ることができる。	①関係代名詞の非制限用法、不定詞・動名詞の意味上の主語を理解する。	・本文の要点をまとめる活動 ・若い時にする冒険という経験について自分の考えを述べ合う活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ワークシート ・スピーチ
5	13	Lesson 2 Into Unknown Territory	棋士である羽生善治の勝負観・人生哲学に触れる。	ア 羽生善治の強さの秘密を考察する。 イ インタビューの形式に慣れる。 ウ 将棋や人生にとっても大切な我慢強さについて、自分の考えをまとめて発表する。 エ 関係副詞の非制限用法、受け身・否定の分詞構文、whether名詞節に習熟する。	①インタビューの際、質問したり聞き返したりして積極的に理解しようとしている。	①「我慢強さは、将棋だけではなく、人生についても当てはまる」という意見について、自分の考えを発表することができる。 ②我慢強さが問われた自分自身の経験について述べるができる。	①羽生善治棋士の強さの秘密、そして人生観を適切に読み取ることができる。 ②クラスメートにインタビューをして内容を理解することができる。	①関係副詞の非制限用法、受け身・否定の分詞構文、SVO(O=whether節)を使った英文の意味や構造を理解する。	・我慢強さの重要性について自分の考えを述べる活動 ・インタビュー形式に親しむ活動	・定期考査 ・ワークシート ・ライティング ・スピーチ・質疑応答
6	13	Lesson 3 OOPARTS	過去における当時の技術では考えられない「不思議な人工物」について知る。	ア 世界にある「不思議なもの」のいくつかの具体例を通して、その不思議さの秘密を読み取る。 イ 「オーパーツ」の中から、自分の興味のあるものを選び、簡潔にまとめて発表する。 ウ 「オーパーツ」の存在について、自分の考えを発表させる。 エ 前置詞+関係代名詞、助動詞+have+過去分詞に習熟する。	①読んだ内容について意見や感想を述べようとしている。	①「オーパーツ」についての簡潔に例示することができる。 ② 科学で説明することができるものの存在について、自分の考えをわかりやすく話すことができる。	①それぞれのオーパーツが存在したその地域や年代を考えながら、適切に読み取ることができる。 ②クラスメートの意見を理解することができる。	①前置詞+関係代名詞、助動詞+have+過去分詞、It is known that ～の構文を使った英文の意味や構造を理解している。	・オーパーツについて簡潔に例示する活動 ・オーパーツについて自分の考えを述べる活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ワークシート ・スピーチ

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
7	13	Lesson 4 Crossing the Border	「国境なき医師団」に参加した貫戸朋子医師の活動を通じて、国際協力について考える。	ア 貫戸医師の伝えたい想いをしっかり読み取る。 イ 国際協力をする上で重要なことについて考える。 ウ 貫戸医師のとした判断について、自分の考えを発表する。 エ 不定詞+前置詞、完了進行形、強調構文に習熟する。	①表現できないところがあるても、知っている語句や表現を用い、積極的にコミュニケーション活動に参加している。	①「内戦状態の地で、貫戸医師が死にそうな子供に対してとった判断」について、自分の考えを簡潔に話すことができる。 ②国際協力について、自分の考えを述べるができる。	①貫戸医師がスリランカで経験した困難や伝えたい思いを正しく読み取ることができる。 ②国際協力についての様々な意見を理解することができる。	①不定詞+前置詞、完了進行形、強調構文を使った英文の意味や構造を理解している。	・貫戸医師経験した困難や国際協力の実情について簡潔にまとめ、伝える活動 ・貫戸医師がとった判断について、自分の考えを述べる活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ディスカッション／ディベート ・ライティング
9	14	Lesson 5 Saving Cherokee	18c～19c、アメリカ南東部に居住するチェロキーの母語を守る闘いについての話	ア 母語のチェロキー語を守るために闘い続けたチェロキーの歴史を通して、民族にとって母語とはなにかを考える。 イ 「危機に瀕した言語」について、自分の考えを発表する。 ウ 複合関係詞、不定詞の完了形、比較級+than S+Vの表現に習熟する。	①表現する際、相手によりうまく伝わるように別の語句や表現で言いかえたり、説明して伝えるなどの工夫をしている。	①チェロキー語がどのようにして守られてきたか、その経緯を簡潔に示すことができる。 ②危機に瀕した言語を救うために何ができるかについて、わかりやすく話すことができる。	①同化政策によってチェロキー語が絶滅しかけた経緯を理解する。 ②民族にとって言語とは何か、母語とは何かについて、正しく読み取ることができる。	①複合関係詞、不定詞の完了形、比較級+than S+Vの表現を使った英文の意味や構造を理解している。	・物事の過程を簡潔に伝える活動 ・「危機に瀕した言語」について、自分の考えを述べる活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ワークシート ・スピーチ
10	14	Lesson 6 Ashura--A Statue with Three Faces--	興福寺・阿修羅像の魅力と奈良時代の東洋と西洋の交流についての話	ア 人々が阿修羅像に魅かれる理由を考える。 イ 仏像に癒しなどを求めることについて、自分の考えを発表する。 ウ 結果を表す不定詞、倒置、無生物主語の他動詞構文に習熟する。	①読んだ内容について意見や感想を述べようとしている。	①癒しや浄罪を求めて阿修羅に祈ることについて自分の考えを簡潔に示すことができる。 ②阿修羅像の歴史や魅力について簡潔に述べることができる。	①阿修羅像の歴史、作られ方、古代ギリシア等の影響を正しく読み取ることができる。 ②阿修羅像に多くの人々が魅力を感じる理由を適切に読み取ることができる。	①結果を表す不定詞、倒置、無生物主語の他動詞構文を使った英文の意味や構造を理解している。	・仏像に祈ることについて自分の意見を述べる活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ライティング ・スピーチ

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
11	14	Lesson 7 Why Biomimicry?	新素材・新技術を動植物から学ぶ「バイオミクリー」についての話	ア 自然から学ぶ態度の重要性について考える。 イ 自然と人とのつながり、共生について考え、他の生徒と共有する。 ウ 自然と人間との関係について、自分の考えを発表する。 エ 仮定法現在、if 節のない仮定法、未来に関する仮定法に習熟する。	①環境問題についての自分の考えを、間違えることを恐れずに話している。	①バイオミクリーの例を出したり、背景について説明できる。 ②私たちは自然を支配するということよりも自然と共に生きるべきであるという意見について、自分の考えをわかりやすく示すことができる。	①動植物に学んだ技術や素材などの実例を、正しく読み取ることができる。 ②動植物に学ぶバイオミクリーが最近注目されている背景を、適切に読み取ることができる。	①仮定法現在、if 節のない仮定法、未来に関する仮定法を使った英文の意味や構造を理解している。	・バイオミクリーについて紹介する活動 ・自然と人間の関係のあり方について自分の考えを述べる活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・プレゼンテーション・質疑応答 ・ライティング
12	14	Lesson 8 Working against the Clock	ロボットによる地雷除去活動の話	ア 地雷について学んだことを、的確にまとめる。 イ 日本による国際貢献、平和貢献について知る。 ウ 地雷と私たちとの関係について、自分の考えをまとめて発表する。 エ 完了の分詞構文、受け身の進行形、補語としてのwhether節に習熟する。	①平和への取組みについて自分の考えを、より正確にわかりやすく伝えるように工夫している。	①世界の地雷の問題、そして日本人による地雷除去活動について説明できる。 ②地雷や爆弾がある国の問題について、自分の考えを整理して、わかりやすく話すことができる。	①世界の地雷の問題について正しく読みとることができる。 ②地雷除去ロボットが、現地で受け入れられるまでの工夫を適切に読み取ることができる。	①完了の分詞構文、受け身の進行形、補語としてのwhether節を使った英文の意味や構造を理解している。	・本文の概要や要点を簡潔に述べる活動 ・平和への取組みについて自分の考えを述べる活動	・定期考査 ・ワークシート ・言語活動の観察 ・スピーチ ・ライティング
1	13	Lesson 9 The Long Voyage Home	「はやぶさ」の苦難の帰還についての話	ア はやぶさプロジェクト成功の理由を読み取る。 イ はやぶさと私たちの日常生活との関係について、自分の考えをわかりやすく発表する。 ウ 独立分詞構文、未来進行形、未来完了形に習熟する。	①内容の展開を理解しながら読み、読んだ内容について意見や感想を述べようとしている。	①はやぶさの負った使命とその行程を簡潔に説明できる。 ②はやぶさは私たちの日常生活にはあまり役立たないという意見について、自分の考えを述べるができる。	①はやぶさの負った使命、およびその行程を正しく読み取ることができる。 ②はやぶさのプロジェクトが最終的に成功した要因を、適切に読み取ることができる。	①独立分詞構文、未来進行形、未来完了形を使った英文の意味や構造を理解している。	・はやぶさの任務とその意義を簡潔に述べる活動 ・はやぶさと日常生活の関係について簡潔に述べる活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ワークシート ・スピーチ ・ライティング

令和3年度 英語科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
英語活用 Advanced Expression	普通科文系	2年	3
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
		NEW FAVORITE English Expression II （東京書籍）	

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実情報や意見・考えなどを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
コミュニケーションに関心を持ち、積極的に自己表現しようとしている。	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。

「英語活用 Advanced Expression」(2年文系)指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
4	2	School Uniform	[トピック] 制服の是非について話し合おう [言語材料] 動詞・時制 ・注意すべき自動詞と他動詞 ・注意すべき時制	ア 積極的に自分の意見を述べる。 イ 制服の是非について、自分の意見とその理由を述べる。 ウ 自動詞、他動詞についてその用法を理解する。	①学校生活における制服に賛成[反対]する理由を挙げることができる。	①制服の是非とその理由を5文程度の英語で書くことができる。 ②自動詞と他動詞を的確に使い分けて文を書くことができる。	①未来完了形、未来進行形、時条件を表す副詞節が使われている文を理解でき、また、なぜそれが使われているか理解できる。	①制服や学校生活に関する表現について理解できる。 ②動詞の用法や、時制について理解している。	・制服の是非について意見交換する活動	・定期考査 ・言語活動の観察
4	2	Online Addiction	[トピック] オンラインゲームの危険性について意見を述べよう [言語材料] 助動詞 ・助動詞を使った表現 ・that 節中にshould を用いる表現	ア 相手を納得させる理由を挙げ表現する。 イ オンラインゲームの問題点を挙げ、自分の意見とその理由を述べる。 ウ 助動詞の用法を理解する。	①オンラインゲームの問題点について、話し合うことができる。	①オンラインゲームの問題点とそれに対する意見や理由を5文程度の英文で表現できる。 ②助動詞の用法に注意しながら表現できる。	①助動詞を含む表現が使われている文が理解できる。 ②提案や命令などを表す表現が使われている文を理解できる。	①身体の健康に関する表現について知っている。 ②助動詞の用法や、提案・命令を表す表現について理解している。	・オンラインゲームの問題点について意見交換する活動	・定期考査 ・言語活動の観察
4	2	Using the Internet	[トピック] インターネットの利用法について話し合おう [言語材料] 準動詞① ・注意すべき不定詞	ア 客観的な理由を用いて意見を述べる。 イ インターネットとその利用について、自分の意見とその理由を述べる。 ウ 不定詞表現の用法を理解する。	①宿題のレポートにインターネットを使うことについて話し合うことができる。	①インターネットの良い点や悪い点について70語程度の英文で書くことができる。 ②さまざまな不定詞を適切に使い、英文を書くことができる。	①さまざまな不定詞を含む表現が使われている文が理解できる。	①インターネット利用のよい点と悪い点について理解できる。 ②不定詞の用法について理解している。	・インターネットの使用法についてグループで意見交換する活動 ・インターネットの利点・問題点について書く活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ライティング

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
4	2	Specialization in Sports	[トピック] 興味のある話題について発表しよう [言語材料] 準動詞 ② ・注意すべき動名詞	ア 自分の経験を踏まえながら自分の意見を伝える。 イ 最近のニュースについて、自分の感想や意見を言う。 ウ 動名詞の用法を理解する。	①最近読んだ雑誌などの記事について、自分の意見を持ち、それを発表することができる。	①自分が見たり読んだりしたニュースについて、その説明や自分の意見を書くことができる。 ②さまざまな動名詞の表現を使って、言いたいことを端的に伝えることができる。	①さまざまな動名詞の表現が使われている文を理解できる。	①スポーツの専門化に関する状況を理解できる。 ②不定詞、動名詞、分詞の用法を理解している。	・見たり読んだりしたニュースについて意見交換する活動	・定期考査 ・言語活動の観察
4	2	Show and tell	日本文化の紹介	ア 相手に伝わりやすい表現を考えて発表する。 イ 身近な日本文化について紹介するスピーチをする。 ウ プレゼンテーションに必要な言い回しや表現について知る。	①日本文化を外国人にもわかりやすく説明しようとしている。	①アイコンタクトやジェスチャーを交え、相手にわかりやすく日本文化を説明できる。	①他者のスピーチを聞き、内容を理解できる。	①アイコンタクトや声の大きさに注意して紹介している。	・実際のものを使ったり、写真や映像を見せたりして英語で説明する活動 ・身近な日本文化について、紹介文を書く活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・スピーキング
5	2	Writing a Diary in English	[トピック] 英語で日記を書こう [言語材料] 準動詞③ ・主語の状態を示す分詞 ・注意すべき分詞構文 ・慣用的な分詞構文	ア 自分の1日の生活や出来事について英語で説明したり、日記を書いたりする。 イ 他者の説明や日記に対し、意見や質問をする。 ウ 分詞の用法について理解する。	①1日の出来事を振り返り、英語で日記を書くことができる。	①1日の出来事について書くことができる。 ②さまざまな分詞を用いた表現を正しく使って、英文で表すことができる。	①やや高度な分詞表現や、慣用的な分詞表現が使われている文を理解できる。	①日記に特有の表現について理解できる。 ②分詞の用法を理解している。	・ペアでお互いの一日について話したり質問したりする活動	・定期考査 ・言語活動の観察
5	2	My Future Career	[トピック] 将来の夢、就きたい職業について話そう [言語材料] 比較 ・原級比較を用いた表現 ・比較級を用いた表現	ア 自分の将来の夢や関心のある職業について、英語で説明する。 イ 興味のある職業や活動について考えを伝え合い、自分たちがどのように社会に貢献できるかについて、意見を言う。 ウ 比較表現の用法を理解する。	①将来就きたい職業とその理由を発表することができる。	①自分の将来の夢ややってみたことについて1分程度で述べることができる。 ②比較表現を正しく用いて英文を表現することができる。	①同等比較や比較級を用いた表現が使われている文を理解できる。	①職業に関する表現について理解できる。 ②比較表現の様々な用法について理解している。	・ペアで興味のある職業について話す活動 ・それぞれの職業が人や社会にどのように貢献するのか考え、話し合ったり書いたりする活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・スピーキング

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
5	3	Pets	[トピック] ペットについて話そう [言語材料] 受け身 ・注意すべき受け身	ア 異なる文化でのペットに対する考え方の相違や問題点について考え、英語で意見を言う。 イ 動物を飼うことの効用について理解し、どのような場面で動物の力を生かすことができるかについて、自分の意見を英語で表現する。 ウ 受け身の用法を理解する。	①調査結果などをもとに、ペットを飼うことについて話し合うことができる。	①動物が人に与える力について70語程度の英文で表現することができる。 ②受け身を適切に使い、英文を書くことができる。	①受け身を含む表現が使われている文が理解できる。 ②be動詞以外の動詞を使った受け身が使われている文を理解できる。	①各文化圏におけるペットのあり方や、そこでのペットの問題点などを理解できる。 ②受け身の用法について理解している。	・動物を飼うことの意義やその問題点について話す活動 ・動物が人に与える良い影響について話したり書いたりする活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ライティング
5	3	A Little Escape	[トピック] 行ってみたい場所について話そう [言語材料] 関係詞 ・関係代名詞whatを用いた表現 ・複合関係詞を用いた表現	ア 自分が行ってみたい場所とその理由について説明する。 イ ある場所について、読み手に行きたいと思わせるような紹介文を英語で書く。 ウ 関係詞の用法を理解する。	①行ってみたい場所について、積極的に話し合うことができる。。	①自分の行きたい場所とその理由について話したり書いたりできる。 ②関係代名詞whatや複合関係詞を用いて、英文を正しく表現することができる。	①関係代名詞whatや複合関係詞が使われている文を理解できる。	①生活に潤いを与えるリゾート施設や観光地について理解できる。 ②無生物主語や名詞構文の用法について理解している。	・ペアで行ってみたい場所について話す活動 ・観光地の広告などを参考に、人の興味を引きつける紹介文を書く活動	・定期考査 ・言語活動の観察
6	2	Good Fortune	[トピック] もしもの話をしよう [言語材料] 仮定法① ・注意すべき仮定法表現	ア 現実とは異なる状況を想定して、その場合どうなるかを英語で表現する。 イ 身の回りにあるものが存在しなかったら自分の生活がどうなるかについて考え、英語で表現する。 ウ 仮定法の用法について理解する。	①想像力を働かせて、現実にはありえないような状況の話をすることができる。	①実際とは異なる状況を想定して表現することができる。 ②仮定法の定型表現を使って、仮定の話をすることができる。	①仮定法のさまざまな定型表現が理解できる。	①「もしも」の話をすべき状況と、その表現について理解できる。 ②仮定法の用法について理解している。	・「もしも」の話をする活動 ・「もしも」の状況について書く活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ライティング
6	2	Barrier-Free Society	[トピック] バリアフリー社会に向けて提言しよう [言語材料] 仮定法② ・注意すべき仮定法表現	ア バリアフリーの環境に関心を持ち、他人の意見も取り入れながら、企画書を書く。 イ バリアフリーの環境づくりについて考え、その企画を書く。 ウ 仮定法の用法を理解する。	①バリアフリーの環境作りについて積極的に考え、企画を考えようとしている。	①誰に対しどんなバリアフリーが必要か、またその方法について70語程度の英文で表現することができる。 ②ifを使わずに短く条件を示し、推量[意見]が述べられていることを理解できる。	①様々な仮定法を用いた表現が使われている文を理解できる。	①バリアフリー社会や高齢化社会に関する表現について理解できる。 ②仮定法の用法について理解している。	・身の回りの環境問題について、解決策をグループでブレインストーミングする活動 ・バリアフリーな環境作りについて企画書を作成する活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ライティング

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
6	2	Food Self-Sufficiency	[トピック] 食料自給率について考えよう [言語材料] 直接話法と間接話法・直接話法と間接話法	ア 日本の食糧自給率について考える。 イ 自分の意見を、立場を明確にして理由とともに表現することができる。 ウ 直接話法と間接話法について理解し、適切に使用できる。	①自分の意見を賛成、反対を明確にして表現することができる。 ②時制の一致に注意して話法を含んだ文を作ることができる。	①自分の意見を賛成、反対を明確にして理由とともに表現することができる。 ②直接話法と間接話法の違いを理解できる。	①登場人物ごとに発言を整理しながら会話を聞くことができる。 ②直接話法と間接話法の違いを理解できる。	①日本の食料自給率について理解している。 ②形容詞、副詞についてその用法を理解している。	・普段の食事やそれらがどこで作られているかについて話す活動 ・食料自給率についてグループでブレンストーミングをする活動	・定期考査 ・言語活動の観察
6	2	Lesson 12 Japanese Longevity	[トピック] 長寿社会について考えよう [言語材料] 無生物主語構文	ア 日本の平均寿命や、他国とのについて理解する。 イ 日本人の寿命を脅かす原因について考え、その解決策を英語で表現する。 ウ 無生物主語、名詞構文について理解する。	①日本人の寿命を脅かす原因の1つである肥満について話し合うことができる。	①日本人の平均寿命が長い理由について、食生活や生活習慣の変化に触れながら説明できる。 ②さまざまな無生物主語構文を用いて表現することができる。	① 無生物主語構文を理解できる。	①食生活や生活習慣に関する表現について理解できる。 ②無生物主語の用法について理解している。	・日本人の平均寿命が長い理由や、それを脅かす要因について、グループでブレンストーミングする活動	・定期考査 ・言語活動の観察
7	2	スピーチ鑑賞	キング牧師のワシントン大行進での演説	ア 人の心に訴えるスピーチとはどのようなものか知る。 イ 繰り返しのフレーズや対比の部分指摘し、その効果を知る。 ウ スピーチの好きなところを選んで暗唱する。	①スピーチの内容に興味を持って読んでみる。 ②人の心に訴えるスピーチとはどのようなものか知ろうとしている。	①繰り返しのフレーズに気づき、主張したい内容に注意しながら音読できる		①この映画の題材の背景を知り、スピーチの内容をより深く理解する。	・スピーチで自分の好きなところを暗唱する活動	・内容理解 ・音読
7	7	Why Don't You Visit Japan?	[トピック] 日本を訪ねるとよい理由を説明する [学習項目] パラグラフの構成	ア 読み手が興味を持って読んでもらえる内容や構成を工夫して書く。 イ 日本を訪ねることの魅力について、自分の伝えたい情報を整理して書く。	①外国人に日本のことを薦めるにあたり、相手にわかりやすいように工夫して紹介することができる。	①基本的なパラグラフの構成に基づいて、英文を書くことができる。	①英文のパラグラフ構成について理解できる。	①外国人に日本のことを薦めるにあたり、日本の文化や地域の特色について知っている。	・日本の魅力について紹介文を書く活動 ・写真などを使用しながら、日本を訪ねることの良さを紹介しあう活動	・定期考査 ・言語活動の観察

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
7	7	Lesson 14 A Lucky Day	[トピック] 幸運だった1日を振り返る [学習項目] 時間軸に沿って情報を並べるパラグラフ	ア 時間軸を意識して書く。 イ 主題文、指示文、結論文を使って、まとまりのあるパラグラフを書く。 ウ 自分の1日について、流れが分かりやすいように工夫して書く。	①自分の1日を振り返り、その状況を人に伝えるように発表することができる。	①時間軸に沿って情報を並べ、簡単なパラグラフを書くことができる。	①時間軸に沿って情報が記述されているパラグラフについて、その構造を理解することができる。	①時間軸に沿って情報が記述されている、海外の漫画などの内容を理解できる。	・ある1日について、時間の流れや出来事の因果関係を整理しながら書く活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ライティング
9	7	Visiting Australia	[トピック] オーストラリアを訪ねるといふ理由を説明する [学習項目] 結論を挙げ、その理由を項目ごとに説明するパラグラフ	ア 事実をあげながら、自分の意見を相手に伝える。 イ 事実を引用しながら、それに対する自分の意見を言う。 ウ 自分の好きなものを他者に薦めるために、興味をもってもらえるように工夫して書く。	①事実を的確に説明しようとしている。 ②人に薦めたい物事について、相手にわかりやすいように工夫して紹介することができる。	①結論を挙げ、その理由を項目ごとに説明するパラグラフを書くことができる。	①結論を挙げ、その理由を項目ごとに説明するパラグラフ構成について理解できる。	①オーストラリアについて、データや数値など、客観的な情報を知り、それを実際に使うことができる。。	・あるテーマについて、ブレーンストーミングを行い、内容で分類する活動 ・ブレーンストーミングで出た観点からいくつか選び、パラグラフの構成を考えて書く活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ライティング
9	7	Pros and Cons of Traveling Abroad	[トピック] 海外旅行の長所と短所を述べる [学習項目] 物事の長所と短所を述べるパラグラフ	ア 物事の二面性・多面性を意識して事実を述べる。 イ 物事の長所と短所の両方を述べる際の構成に注意しながら、表現する。	①物事の長所と短所を述べる方法について学び、自分の意見を人に伝えるように発表することができる。	①理由や具体例を添えながら、物事の長所と短所の両面について述べることができる。	①理由や具体例を添えながら、物事の長所と短所の両面について述べる時の表現が理解できる。	①海外旅行の長所と短所について、意見や理由、具体例を比較検討しながら理解することができる。	・あるテーマの長所と短所および具体例についてブレーンストーミングする活動 ・ブレーンストーミングで出た意見からいくつか選び、パラグラフの構成を考えて書く活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ライティング
10	7	Proposing a New School Uniform	[トピック] 今の制服には問題があるので、新しいものにするのを提案する [学習項目] 問題を提起し、提案を述べるパラグラフ①	ア 身近な物事の現状を見直し、問題点や課題について考える。 イ 具体例や理由を挙げながら、新しい考えを分かりやすく提案する。 ウ 提案をするときの表現を理解する。	①問題を提起・指摘し、その解決策を提案することができる。	①自分の意見やアイデアを整理して、エッセイのアウトラインを作成することができる。	①自分の意見やアイデアを整理して、エッセイのアウトラインを作成することができる。	①身近にある問題を意識し、それらについて知り、ある程度、自分の意見を持っている。	・改善すべきだと思うことについて、理由や改善案を示しながらそれに替わる提案を書く活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ライティング

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
10	7	Let's Cook Our Meals	[トピック] 時には自分で料理するべきだと提案する [学習項目] 問題を提起し、提案を述べるパラグラフ②	ア 身近な物事の現状を見直し、問題点や課題について考える。 イ トピックの背景を示しながら具体例や理由を挙げ、新しい考えを分かりやすく提案する。 ウ 提案をするときの表現を理解する。	①問題を提起・指摘し、その解決策を提案することができる。	①エッセイにおいて、問題を提起し、提案を述べるパラグラフを作成することができる。	①エッセイの構成要素を意識しながら、まとまった文章を聴いたり、読んだりすることができる。	①身近にある問題を意識し、それらについて知っており、ある程度、自分の意見を持つとともに、それらを他人に伝える。	・改善可能だと思うことについて、背景知識とともに理由や改善案を示しながら提案文を書く活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・ライティング
11	3	スピーチ鑑賞	パキスタン人女性 Malala Yousafzai の国連本部での演説	ア 人の心に訴えるスピーチとはどのようなものか知る。 イ 繰り返しのフレーズや対比の部分指摘し、その効果を知る。 ウ スピーチの好きなところを選んで暗唱する。	①スピーチの内容に興味を持って読んでいる。 ②人の心に訴えるスピーチとはどのようなものか知ろうとしている。	①繰り返しのフレーズに気づき、主張したい内容に注意しながら音読できる。		①背景となる事実を知り、スピーチの内容をより深く理解する。	・スピーチで自分の好きなところを暗唱する活動	・内容理解 ・音読
11	7	Welcome to Osaka	[トピック] シンガポールから来日した高校生を歓迎するスピーチ [学習項目] スピーチの実演	ア 聞き手に興味をもってもらい、記憶に残りやすい話し方について知る。 イ スピーチに含むべき内容について考え、そのスピーチの目的を果たすために効果的な順序で話す。 ウ スピーチに特有の表現を理解する。	①聴衆を意識し、伝えたいポイントを強調しながらスピーチをすることができる。	①聞き手の理解を念頭に置きながら、スピーチの原稿を書くことができる。	①スピーチの構成要素について理解できる。	①スピーチに特有の表現を知っている。	・他者にスピーチを通じて伝えたいことを考え、効果的な内容と構成を考えてスピーチする活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・スピーチ
12	7	Let's Fly to the UK	[トピック] もし2週間海外に行けるとしたらどの国に行くべきか [学習項目] プレゼンテーションの実演	ア 聞き手に興味をもってもらい、聞き手が理解しやすいプレゼンテーションについて知る。 イ プレゼンテーションに含むべき内容について考え、効果的な資料や提示方法を工夫しながら発表する。 ウ プレゼンテーションに特有の表現を理解する。	①聴衆を意識し、伝えたいポイントを強調しながらプレゼンテーションの原稿を作成することができる。	①聞き手の理解を念頭に置きながら、プレゼンテーションの原稿を書くことができる。	①プレゼンテーションの構成要素について理解できる。	①プレゼンテーションに特有の表現を知っている。	・他者にプレゼンテーションで伝えたいことを考え、効果的な内容と構成を考えて発表する活動	・定期考査 ・言語活動の観察 ・プレゼンテーション
1	4	ディベートの準備をしよう	[トピック] Going Abroad vs. Traveling in Japan [学習項目] ・ブレインストーミング ・アイデア整理	ア 1つのテーマについて、ブレインストーミングを行い、できるだけ多くの意見を出す。 イ ブレインストーミングで出された意見を、立場に分けて整理する。 ウ 整理された意見をもとに、相互関係や説得力のあると思う意見について話し合う。	①グループに分かれてアイデアを出し合い、ディベートにふさわしい論点を話し合うことができる。 ②他のグループが出したアイデアについて関心を持って聞くことができる。	①ある論点について、肯定側または否定側のアイデアを整理することができる。	①肯定側または否定側の立場を意識しながらディベートを聞くことができる。	①ディベートの進め方について理解できる。 ②ディベートの判定について理解できる。	・あるテーマについて、ブレインストーミングを行い、内容で分類する活動 ・ブレインストーミングで出た意見から、より説得力のあるものを話し合い選ぶ活動	・言語活動の観察

令和3年度 英語科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
英語活用 Research & Presentation	普通科（内進生）文系	2年	3
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		PATHWAYS 2 Reading, Writing and Critical Thinking (CENGAGE Learning)	

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、社会の諸事情に関する事実情報や意見・考えなどを整理し、論理の展開や適切な表現方法を工夫しながら伝える能力を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
自分なりの考えをまとめようとしている。また、コミュニケーションに関心を持ち、積極的に自己表現しようとしている。	自分が調べたり考えたりしたことなどについて論点や根拠などを明確にし、効果的な方法で相手に伝えることができる。		アカデミックな用語や言語運用についての知識を身に付けている。プレゼンテーションのの仕方や、自分の考えを効果的に伝えるために必要な表現などを理解している。

「英語活用Research & Presentation」(2年)指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
4	10	Happiness	幸福に関する内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 読んだことに基づき、地域社会に暮らす人々は幸せかについて英文レポートを作成する。 ウ 人が幸せに感じる要因について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき、聞き手に自分の考えやリサーチ内容をわかりやすく説明する。 ②地域社会の人々の幸福についてのレポートを書き、発表することができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②科学技術がいかに幸福に貢献し得るかについてのレポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・読んだ内容について、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動 ・与えられたテーマについてリサーチし、発表する活動。	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査
5	10	Big Ideas	歴史上の偉大な発明に関する内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 読んだことに基づき、発明によって我々の生活がどう変化したかについて英文レポートを作成する。 ウ 様々な発明について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき、聞き手に自分の考えやリサーチ内容をわかりやすく説明する。 ②発明品によって我々の生活がどう改善したかについてのレポートを書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②発明と科学技術についてのレポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・読んだ内容について、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動 ・与えられたテーマについてリサーチし、発表する活動。	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査

6	11	Connected Lives	オンラインメディアに関する内容	ア ペアワークに積極的に参加し、聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 読んだことに基づき、ソーシャルネットワークやブログの功罪について英文レポートを作成する。 ウ インターネットが我々の生活に与えた影響について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 情報社会に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペアワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき、聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 ②ソーシャルネットワークやブログの功罪についてのレポートを書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・読んだ内容について、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動 ・与えられたテーマについてリサーチし、発表する活動。	・言語活動の観察 ・レポート ・定期考査
7	10	Deep Trouble	漁獲や海洋環境に関する内容	ア ペアワークに積極的に参加し、聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 読んだことに基づき、海洋の環境を保全する方法を提案する。 ウ グラフやチャートから見とれる内容を英語で表現したり、意見を交換する。 エ 海洋に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペアワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを、伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき、聞き手に自分の考えやリサーチ内容をわかりやすく説明する。 ②海洋環境を守る方法について提案することができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・読んだ内容について、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動 ・与えられたテーマについてリサーチし、発表する活動。	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査
9	10	Memory and Learning	記憶や脳に関する内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 読んだことに基づき、記憶術の方法や睡眠と脳の関係について説明する。 ウ 記憶を向上させるための提案をする。 エ 記憶や脳に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、テーマについて調べようとしている。 ②相手の発表を聞き積極的に質問したり、質問に答えたりしようとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき、聞き手に自分の考えやリサーチ内容をわかりやすく説明する。 ②記憶を向上させる方法について提案できる。。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・読んだ内容について、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動 ・与えられたテーマについてリサーチし、発表する活動。	・言語活動の観察 ・レポート ・定期考査

10	12	Dangerous cures	医療を目的とした毒の利用について書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 読んだことに基づき、医薬開発に毒を用いることのメリット・デメリットについて英文レポートを作成する。 ウ 医療に活用される毒について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 医療に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを、伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき、聞き手に自分の考えやリサーチ内容をわかりやすく説明する。 ②医療に毒を活用することについてのメリットとデメリットについて書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・読んだ内容について、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動 ・与えられたテーマについてリサーチし、発表する活動。	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査
11	12	Nature's Fury	自然災害について書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 読んだことに基づき、災害が生じる過程とその対処について英文レポートを作成する。 ウ 災害が生じる過程とそれへの対処法について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 災害・自然現象・防災に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを、伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき、聞き手に自分の考えやリサーチ内容をわかりやすく説明する。 ②災害が生じる過程や対処法について書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・読んだ内容について、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動 ・与えられたテーマについてリサーチし、発表する活動。	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査
12	8	Building Wonders	建築について書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 イ 読んだことに基づき、建築物の特徴について英文レポートを作成する。 ウ 建造物の特徴や歴史について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 建築に関連する語彙や表現を適切に使う。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことや自分でリサーチしたことに基づき、聞き手に自分の考えや意見をわかりやすく説明する。 ②建築物の特徴について書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・読んだ内容について、口頭で意見交換する活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動 ・与えられたテーマについてリサーチし、発表する活動。	・言語活動の観察 ・レポート

令和3年度 英語科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
英語活用 Debate & Discussion	普通科（内進生）文系	2年	3
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		PATHWAYS 2 Reading, Writing and Critical Thinking (CENGAGE Learning)	

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、社会の諸事情に関する事実情報や意見・考えなどを様々な観点から考察し、論理の展開や適切な表現方法を工夫しながら議論・討論する能力を養う。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
自分なりの考えをまとめようとしている。また、コミュニケーションに関心を持ち、積極的に自己表現しようとしている。	自分が調べたり考えたりしたことなどを論理的にまとめ、効果的な方法で相手に伝えたり、議論・討論することができる。		アカデミックな用語や言語運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある事象や原理などを理解している。

「英語活用Debate & Discussion」(2年)指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
4	10	Happiness	幸福に関する内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 イ 読んだことに基づき、地域社会に暮らす人々は幸せかについて英文レポートを作成する。 ウ 人が幸せに感じる要因について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 幸福に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、英語で考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 ②地域社会の人々の幸福についてのレポートを書き、発表することができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ、その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査
5	10	Big Ideas	歴史上の偉大な発明に関する内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 イ 読んだことに基づき、発明によって我々の生活がどう変化したかについて英文レポートを作成する。 ウ 様々な発明について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 人類の発明に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 ②発明品によって我々の生活がどう改善したかについてのレポートを書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ、その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査

6	11	Connected Lives	オンラインメディアに関する内容	ア ペア・グループワークに積極的に参加し、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 イ 読んだことに基づき、ソーシャルネットワークやブログの功罪について英文レポートを作成する。 ウ インターネットが我々の生活に与えた影響について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 情報社会に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 ②ソーシャルネットワークやブログの功罪についてのレポートを書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ、その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・定期考査
7	10	Deep Trouble	漁獲や海洋環境に関する内容	ア ペア・グループワークに積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 読んだことに基づき、海洋の環境を保全する方法を提案する。 ウ グラフやチャートから見とれる内容を英語で表現したり、意見を交換する。 エ 海洋に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを、伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、自分の考えや意見を述べるができる。 ②海洋環境を守る方法について提案することができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ、その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査
9	10	Memory and Learning	記憶や脳に関する内容	ア ペア・グループワークに積極的に参加し、自分の考えを伝えようとする。 イ 読んだことに基づき、記憶術の方法や睡眠と脳の関係について説明する。 ウ 記憶を向上させるための提案をする。 エ 記憶や脳に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、テーマについて調べようとしている。 ②相手の発表を聞き積極的に質問したり、質問に答えたりしようとしている。	①読んだことに基づき、理解した内容をまとめることができる。 ②記憶を向上させる方法について提案できる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ、その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・定期考査

10	12	Dangerous cures	医療を目的とした毒の利用について書かれた内容	ア ペア・グループワークに積極的に参加し、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 イ 読んだことに基づき、医薬開発に毒を用いることのメリット・デメリットについて英文レポートを作成する。 ウ 医療に活用される毒について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 医療に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを、伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 ②医療に毒を活用することについてのメリットとデメリットについて書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ、その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査
11	12	Nature's Fury	自然災害について書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 イ 読んだことに基づき、災害が生じる過程とその対処について英文レポートを作成する。 ウ 災害が生じる過程とそれへの対処法について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 災害・自然現象・防災に関連する語彙・表現等を身に付ける。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを、伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 ②災害が生じる過程や対処法について書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ、その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート ・語彙・表現テスト ・定期考査
12	8	Building Wonders	建築について書かれた内容	ア ペア・グループ活動に積極的に参加し、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 イ 読んだことに基づき、建築物の特徴について英文レポートを作成する。 ウ 建造物の特徴や歴史について書かれた英文を読んで、内容を理解する。 エ 建築に関連する語彙や表現を適切に使う。	①ペア・グループワークに積極的に参加し、感想や自分の考えなどを伝え合おうとしている。 ②積極的に自分の意見を書こうとしている。	①読んだことに基づき、考えや意見を相手にわかりやすく、説得性を持たせながら説明することができる。 ②建築物の特徴について書くことができる。		①自分の意見や考えを伝える表現を理解している。 ②レポート作成で使用する語彙を理解している。	・英文を読んで概要を理解する活動 ・与えられたテーマについて、口頭で意見交換する活動 ・与えられたテーマについて調べ、その是非について意見を述べ合う活動 ・自分の考えを書いたり発表したりする活動	・言語活動の観察 ・レポート

令和3年度 英語科 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
外部検定試験チャレンジ	普通科（内進生）文系	2年	1
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
		英検過去6回全問題集	

科目の目標	「外部検定試験（GTEC、GTEC CBT、実用英語検定試験等）において、本科目受講生の6割以上がCEFR B2以上に達する」		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
自分が定めた目標に向かって外部模試試験に積極的に臨もうとしている。	受験する個々の外部試験のライティング・スピーキング問題に対応できる。	受験する個々の外部試験のリーディング問題に対応できる。	受験する個々の外部試験に出てくる用語や表現を理解している。

「外部検定試験チャレンジ」(2年)指導と評価の年間計画

福井県立高志高等学校

実施月	単元の時数	単元名	題材内容	単元の目標	評価規準				単元全体で取り上げる言語活動／学習活動	評価方法 (統合的な評価を含む)
					関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解		
4	3	リーディング演習 リスニング演習	情報検索・概要把握問題、要点理解問題・空所補充問題、語彙・語法問題 会話応答問題、要点理解問題、写真・イラスト説明問題、課題解決問題	ア 英文を素早く読んで、全体の概要及び要点を把握する。 イ 目的に合わせて、英文の主旨や詳細情報を読み取る。 ウ 英文を聞いて、全体の概要及び要点を把握する。 エ 与えられたタスクを行うために必要な情報を聞き取る。	積極的に演習問題に取り組もうとしている。		英文を読んだり、聞いたりして、全体の概要及び要点、詳細情報を把握することができる。	リーディング問題やリスニング問題で問われる語彙や表現を理解している。	英文を読んだり、聞いたりして概要や詳細情報を理解する活動	リーディングテスト リスニングテスト 語彙・表現テスト
5	3	リーディング演習 スピーキング演習 ライティング演習	情報検索・概要把握問題、要点理解問題・空所補充問題、語彙・語法問題 音読、情報伝達問題、会話応答問題、ストーリー説明問題、意見展開問題 自由記述式問題、Eメール作成問題、項目記入問題	ア 英文を素早く読んで、全体の概要及び要点を把握する。 イ 目的に合わせて、英文の主旨や詳細情報を読み取る。 ウ 与えられたテーマに関する質問に対して即座にかつ適切に応答する。 エ 与えられたトピックに対して自分の意見を書く	①積極的に演習問題に取り組もうとしている。 ②積極的に自分の意見を言おうとしたり、書こうとしたりしている。	①与えられたテーマに関する質問に対して即座にかつ適切に応答することができる。 ②与えられたテーマに関して、自分の意見を書くことができる。	英文を読み、全体の概要及び要点、詳細情報を把握することができる。	①リーディング問題やリスニング問題で問われる語彙や表現を理解している。 ②自分の意見や考えを伝える表現を理解している。	①英文を読み、概要や詳細情報を理解する活動 ②自分の考えを書いたり、話したりする活動	リーディングテスト スピーキングテスト エッセイ 語彙・表現テスト

6	4	リーディング演習 リスニング演習 スピーキング演習 ライティング演習	情報検索・概要把握問題、要点理解問題・空所補充問題、語彙・語法問題 会話応答問題、要点理解問題、写真・イラスト説明問題、課題解決問題 音読、情報伝達問題、会話応答問題、ストーリー説明問題、意見展開問題 自由記述式問題、Eメール作成問題、項目記入問題	ア 英文を素早く読んで、全体の概要及び要点を把握する。 イ 目的に合わせて、英文の主旨や詳細情報を読み取る。 ウ 英文を聞いて、全体の概要及び要点を把握する。 エ 与えられたタスクを行うために必要な情報を聞き取る。 ウ 与えられたテーマに関する質問に対して即座にかつ適切に回答する。 エ 与えられたトピックに対して自分の意見を書く	①積極的に演習問題に取り組もうとしている。 ②積極的に自分の意見を言おうとしたり、書こうとしたりしている。	①与えられたテーマに関する質問に対して即座にかつ適切に回答することができる。 ②与えられたテーマに関して、自分の意見を書くことができる。	英文を読んだり、聞いたりして、全体の概要及び要点、詳細情報を把握することができる。	①リーディング問題やリスニング問題で問われる語彙や表現を理解している。 ②自分の意見や考えを伝える表現を理解している。	①英文を読んだり、聞いたりして概要や詳細情報を理解する活動 ②自分の考えを書いたり、話したりする活動	リーディングテスト リスニングテスト スピーキングテスト エッセイ 語彙・表現テスト
7	3	リーディング演習 リスニング演習 スピーキング演習 ライティング演習	情報検索・概要把握問題、要点理解問題・空所補充問題、語彙・語法問題 会話応答問題、要点理解問題、写真・イラスト説明問題、課題解決問題 音読、情報伝達問題、会話応答問題、ストーリー説明問題、意見展開問題 自由記述式問題、Eメール作成問題、項目記入問題	ア 英文を素早く読んで、全体の概要及び要点を把握する。 イ 目的に合わせて、英文の主旨や詳細情報を読み取る。 ウ 英文を聞いて、全体の概要及び要点を把握する。 エ 与えられたタスクを行うために必要な情報を聞き取る。 ウ 与えられたテーマに関する質問に対して即座にかつ適切に回答する。 エ 与えられたトピックに対して自分の意見を書く	①積極的に演習問題に取り組もうとしている。 ②積極的に自分の意見を言おうとしたり、書こうとしたりしている。	①与えられたテーマに関する質問に対して即座にかつ適切に回答することができる。 ②与えられたテーマに関して、自分の意見を書くことができる。	英文を読んだり、聞いたりして、全体の概要及び要点、詳細情報を把握することができる。	①リーディング問題やリスニング問題で問われる語彙や表現を理解している。 ②自分の意見や考えを伝える表現を理解している。	①英文を読んだり、聞いたりして概要や詳細情報を理解する活動 ②自分の考えを書いたり、話したりする活動	リーディングテスト リスニングテスト スピーキングテスト エッセイ 語彙・表現テスト

9	3	リーディング演習 リスニング演習 スピーキング演習 ライティング演習	情報検索・概要把握問題、要点理解問題・空所補充問題、語彙・語法問題 会話応答問題、要点理解問題、写真・イラスト説明問題、課題解決問題 音読、情報伝達問題、会話応答問題、ストーリー説明問題、意見展開問題 自由記述式問題、Eメール作成問題、項目記入問題	ア 英文を素早く読んで、全体の概要及び要点を把握する。 イ 目的に合わせて、英文の主旨や詳細情報を読み取る。 ウ 英文を聞いて、全体の概要及び要点を把握する。 エ 与えられたタスクを行うために必要な情報を聞き取る。 ウ 与えられたテーマに関する質問に対して即座にかつ適切に回答する。 エ 与えられたトピックに対して自分の意見を書く	①積極的に演習問題に取り組もうとしている。 ②積極的に自分の意見を言おうとしたり、書こうとしたりしている。	①与えられたテーマに関する質問に対して即座にかつ適切に回答することができる。 ②与えられたテーマに関して、自分の意見を書くことができる。	英文を読んだり、聞いたりして、全体の概要及び要点、詳細情報を把握することができる。	①リーディング問題やリスニング問題で問われる語彙や表現を理解している。 ②自分の意見や考えを伝える表現を理解している。	①英文を読んだり、聞いたりして概要や詳細情報を理解する活動 ②自分の考えを書いたり、話したりする活動	リーディングテスト リスニングテスト スピーキングテスト エッセイ 語彙・表現テスト
10	4	リーディング演習 リスニング演習 スピーキング演習 ライティング演習	情報検索・概要把握問題、要点理解問題・空所補充問題、語彙・語法問題 会話応答問題、要点理解問題、写真・イラスト説明問題、課題解決問題 音読、情報伝達問題、会話応答問題、ストーリー説明問題、意見展開問題 自由記述式問題、Eメール作成問題、項目記入問題	ア 英文を素早く読んで、全体の概要及び要点を把握する。 イ 目的に合わせて、英文の主旨や詳細情報を読み取る。 ウ 英文を聞いて、全体の概要及び要点を把握する。 エ 与えられたタスクを行うために必要な情報を聞き取る。 ウ 与えられたテーマに関する質問に対して即座にかつ適切に回答する。 エ 与えられたトピックに対して自分の意見を書く	①積極的に演習問題に取り組もうとしている。 ②積極的に自分の意見を言おうとしたり、書こうとしたりしている。	①与えられたテーマに関する質問に対して即座にかつ適切に回答することができる。 ②与えられたテーマに関して、自分の意見を書くことができる。	英文を読んだり、聞いたりして、全体の概要及び要点、詳細情報を把握することができる。	①リーディング問題やリスニング問題で問われる語彙や表現を理解している。 ②自分の意見や考えを伝える表現を理解している。	①英文を読んだり、聞いたりして概要や詳細情報を理解する活動 ②自分の考えを書いたり、話したりする活動	リーディングテスト リスニングテスト スピーキングテスト エッセイ 語彙・表現テスト

11	4	リーディング演習 リスニング演習 スピーキング演習 ライティング演習	情報検索・概要把握問題、要点理解問題・空所補充問題、語彙・語法問題 会話応答問題、要点理解問題、写真・イラスト説明問題、課題解決問題 音読、情報伝達問題、会話応答問題、ストーリー説明問題、意見展開問題 自由記述式問題、Eメール作成問題、項目記入問題	ア 英文を素早く読んで、全体の概要及び要点を把握する。 イ 目的に合わせて、英文の主旨や詳細情報を読み取る。 ウ 英文を聞いて、全体の概要及び要点を把握する。 エ 与えられたタスクを行うために必要な情報を聞き取る。 ウ 与えられたテーマに関する質問に対して即座にかつ適切に回答する。 エ 与えられたトピックに対して自分の意見を書く	①積極的に演習問題に取り組もうとしている。 ②積極的に自分の意見を言おうとしたり、書こうとしたりしている。	①与えられたテーマに関する質問に対して即座にかつ適切に回答することができる。 ②与えられたテーマに関して、自分の意見を書くことができる。	英文を読んだり、聞いたりして、全体の概要及び要点、詳細情報を把握することができる。	①リーディング問題やリスニング問題で問われる語彙や表現を理解している。 ②自分の意見や考えを伝える表現を理解している。	①英文を読んだり、聞いたりして概要や詳細情報を理解する活動 ②自分の考えを書いたり、話したりする活動	リーディングテスト リスニングテスト スピーキングテスト エッセイ 語彙・表現テスト
12	2	リーディング演習 リスニング演習	情報検索・概要把握問題、要点理解問題・空所補充問題、語彙・語法問題 会話応答問題、要点理解問題、写真・イラスト説明問題、課題解決問題	ア 英文を素早く読んで、全体の概要及び要点を把握する。 イ 目的に合わせて、英文の主旨や詳細情報を読み取る。 ウ 英文を聞いて、全体の概要及び要点を把握する。 エ 与えられたタスクを行うために必要な情報を聞き取る。	積極的に演習問題に取り組もうとしている。		英文を読んだり、聞いたりして、全体の概要及び要点、詳細情報を把握することができる。	リーディング問題やリスニング問題で問われる語彙や表現を理解している。	英文を読んだり、聞いたりして概要や詳細情報を理解する活動	リーディングテスト リスニングテスト 語彙・表現テスト

令和3年度 サイエンスフロンティア 指導と評価の年間計画

学校名 福井県立高志高等学校

科目名	学科名	対象学年	単位数
K o A - R ・ II	普通科	2 年	2
教科書（出版社・タイトル）		補助教材等	
なし		なし	

科目の目標	①前年度の研究結果を踏まえて，研究テーマ・コアテーマの再検討を行い的確な研究計画を立て，グループ内やグループ間で協力して課題研究に取り組む。 ②課題研究を通して，調査研究やデータ処理，分析・まとめ・発表・議論など課題解決に必要な能力を習得する。		
評価の観点および評価規準			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	調査・研究の技能	知識・理解
・幅広い問題に関心を持ち，自身の研究テーマと関連づけて，探究を深めることができる。 ・積極的に質問や議論を行い，相互に理解を深め研究の質を向上させることができる。	・調査・研究・観察・実験等を通して，事象を客観的に捉え，分析的・総合的に考察して，根拠を示して論理的に表現できる。 ・他の研究を正確に理解し，自らの意見や質問を論理的に表現することができる。	・調査・研究・観察・実験等の方法を理解し，改善を重ねて科学的に探究することができる。	・自分たちの調査研究や他のグループからの指摘などを理解し，適切に活用して研究を深化させることができる。

「K o A－R・Ⅱ」 指導と評価の年間計画

学校名・学科・学年 福井県立高志高等学校・普通科・2年

実施月	単元名 単元の目標	指導内容	配当 時間	具体的評価規準				評価方法
				関心・意欲・態度	思考・判断・表現	調査研究の技能	知識・理解	
4月	ガイダンス 研究計画	・年間計画の確認。 ・研究の現状と課題の確認。 ・研究計画の確認	6	・各グループのテーマとコアテーマを理解し、建設的な議論を行っている。	・全体計画と各自・各班の課題を把握し、適切に方針を立て、具体的に計画している。	・研究課題や現状を的確に把握・分析し、具体的かつ現実的な実験計画に反映している。	・各自がグループの目標や研究手法、課題等について正確に理解している。	実験計画書 探究ノート
5月 6月	課題研究	・グループ毎に、適切に計画管理しながら実験・観察・調査を行う。	14	・課題解決に関心を持ち、自ら役割を見つけ協力して取り組んでいる。	・情報を適切に取捨選択し、必要な質・量の情報を適切に効率的に収集している。 ・グループ内で積極的な議論を行い研究の改善に資することができる。	・調査・研究・観察・実験等の方法を理解し、適切に実行できる。	・各自の調査研究で得た情報を適切に記録・把握し、論理的に分析している。	実験計画書 探究ノート
7月	中間報告会	・中間報告会の準備 ・中間報告会 （領域別，コアテーマ別） ・フィールドワーク準備	8	・進捗を共有し、わかりやすくまとめたり発表したりするための工夫を行っている。	・年間の計画を意識しこの段階で必要なまとめを行い、わかりやすく発表できる。		・発表会での議論や指摘を理解し、整理してまとめ、記録に残すことができる。	研究ノート 発表 発表資料
9月 10月	課題研究	・中間報告会や休業中の情報収集を踏まえて研究計画を修正する。 ・海外交流等での調査・発表を計画的に進める。	10	・中間報告会も踏まえた上で、情報を整理し、研究が深まるよう徹底して取り組もうとしている。	・中間報告会も踏まえた上で、情報を適切に取捨選択し、必要な質・量の情報を適切に効率的に収集している。 ・グループ内で積極的な議論を行い研究の改善に資することができる。	・調査・研究・観察・実験等の方法を理解し、適切に実行できる。	・各自の調査研究で得た情報を適切に記録・把握し、論理的に分析している。	探究ノート
11月 12月	課題研究	・研修旅行等での調査・発表を踏まえて、研究を進める。 ・発表会に向け、計画的に情報のまとめと分析を行う。	12	・グループ内およびコアテーマ内で十分に議論し、研究結果を真摯に分析しようとしている。	・情報を適切に取捨選択し、必要な質・量の情報を適切に効率的に収集している。 ・グループ内で積極的な議論を行い研究の改善に資することができる。	・調査・研究・観察・実験等の方法を理解し、適切に実行できる。	・各自の調査研究で得た情報を適切に記録・把握し、論理的に分析している。	探究ノート
1月 2月	発表準備 2年生研究発表会	・研究結果をまとめ、レポート、ポスター、発表資料を作成する。 ・効果的な発表を計画・準備する。	14	・研究成果をわかりやすく伝えることができるよう、工夫を重ねている。 ・聞き手に配慮しわかりやすく発表し、積極的に議論しようとしている。	・研究成果を客観的・論理的に分析し、適切な考察を加えて、今後の研究課題を含めてわかりやすくまとめている。	・発表会での議論を通じて今後の研究に必要な指摘や知見を得ることができる。	・発表会での議論や指摘を理解し、整理してまとめ記録に残すことができる。	探究ノート 発表 発表資料 レポート
3月	課題研究	・発表会を踏まえ、研究計画を修正する。	6	・指摘を率直に受け入れて前向きに改善を図ろうとする。	・発表会を受けて来年度に向けて研究計画の見直しを行い、まとめることができる。	・最終まとめに向けて必要な調査・研究を整理し、必要な準備を計画することができる。	・各自の調査研究で得た情報を適切に記録・把握し、論理的に分析し、今後の課題とその解決策について検討できる。	探究ノート